[illegible]

臺灣日日新報
夕刊
九月四日
夕刊定價一部二錢

編輯兼發行人 佐々木[illegible]
臺北市京町四丁目參拾貳番地 發行所 臺灣日日新報社
基隆市旭町（電話七八五）基隆支局
臺中市寶町（電話壹〇七）臺中支局
臺南市錦町（電話[illegible]）臺南支局
花蓮港街入船町 花蓮港支局
大阪市西區靭南通八丁目（ニタカビルディング內）大阪支局
東京市京橋區銀座參丁目[illegible]內 東京支局

臨時議會開院式
聖上陛下御親臨

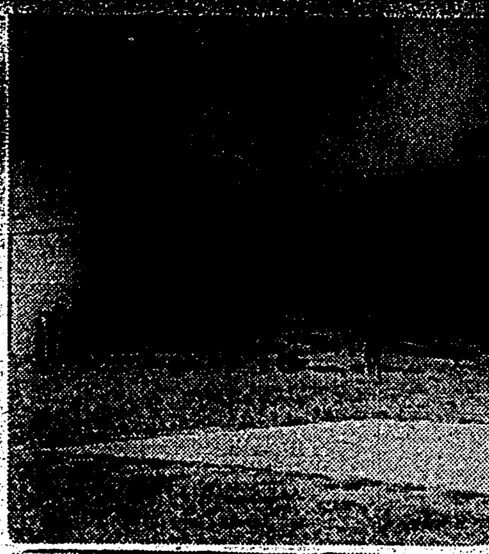
【東京四日發同盟】支那事變に因る非常時局下に成立した第七十二臨時議會の開院式は四日午前十一時貴族院において行はせられた、この日 天皇陛下には陸軍式の御正裝に大勲位菊花章頸飾を初め各勲章を御佩用、金色眩き四頭立儀裝馬車に乘御、百武侍從長御陪乘、午前十時三十五分宮城御出門、親王御總代高松宮宣仁親王殿下、王御總代梨本宮守正王殿下を始め奉り松平宮相、宇佐美侍從武官長、白根宮內次官、鹿兒島式部次長、杉村主馬頭以下供奉申上げ、燦たる天皇旗を先頭に近衛騎兵の儀仗に依る第二公式鹵簿は粛々と同四十五分貴族院正面御車寄に着御、諸員の奉迎を受けさせ給ひ松平貴族院議長の御先導にて便殿に入御、御先着の各皇族方を始め奉り近衛首相以下各閣僚、平沼、荒木樞密院正副議長以下各顧問官並に松平、佐々木、小山、金光貴衆兩院正副議長等に拜謁仰付られた、斯て 陛下には鹿兒島式部次長の御先行にて各皇族方、供奉員を從へさせられ諸員最敬禮裡に午前十一時式場に親臨遊ばされ玉座に着かせ給へば近衛首相は川島內閣書記官の捧持せる勅語書を拜し御前に參進して 恭しく奉れば 陛下にはこれを御手に取らせ給ひ玉音朗かに優渥なる勅語を賜つた、松平議長は靜かに御前に參進、謹んで勅語書を拜受して退下し、玆に滯りなく御儀を終へさせられ 陛下には同十一時五分諸員最敬禮裡に御退場、同十五分議事堂御出門、天機麗はしく宮城に還御遊ばされた

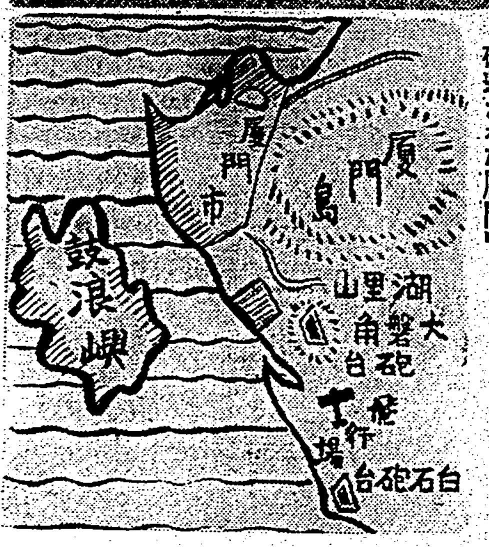
支那側の香港向け 現銀輸送增加

【香港三日發】支那側の香港向け現銀輸送は最近に激增し八月二十六日上海より三千[illegible]万元、二十七、二十八日兩日は廣東銀出にて二千万元を輸送したと傳へらる

我驅逐艦○隻が
厦門を猛砲擊す
砲臺、飛行場に大損害

（馬公四日發至急報）四日午前七時馬公要港部發表—九月三日午後一時帝國驅逐艦○隻は厦門港內に進入、白石砲臺、飛行場、湖里大磐角砲臺に猛烈な攻擊を加へ敵に甚大の損害を與へたり大磐角白石兩砲臺より反擊せしも我に損害なし（電話）





【寫眞上は厦門の海軍飛行場、下の地圖は砲擊された厦門】

國民政府の狼狽
ソ支不可侵條約の締結に
足許から反對論擡頭

【上海四日發同盟】ソ支不可侵條約締結に關し支那朝野の一部要人間に[illegible]全然性質を異にする他國との了解から反對的批判を加へると斯る條約を締結したのは將來に悔ゆべからざる禍根を殘すものである者尠くない、且つ又一部外人間に於ても支那が終極の一策としてソヴエットと提手せざるを得なくなつた理由の一半は認め得るも國民政府の動向か容共に傾きつつある一證左に相違ないから卻つて同情を失ふ結果を生ずるであらうとの見解が行はれ內外に反對論が擡頭してゐるので、國民政府は狼狽し三日夜左の如く政府法律顧問談の形式を以て非公式聲明を發表し國民政府の動向が容共に非らざる旨を重ねて表明したが、これは國民政府の內外にソ支不可侵條約反對の空氣が相當強固な事を反映するものとして注目される

今回のソ支不可侵協定が支那の領土保全について全く言及されず、且つ中國現在の政治社會制度を毀損するが如き外國よりの宣傳に對し保障なしとの國內的批判については今回の條約第三條がこれが杞憂に過ぎない事を明瞭にしてゐる、即ち第三條は今回の協約に依つて從來のソ支間の條約が何等無效とされないと規定されてゐるが從來ソ支間の條約とは一、九二四年三月三十一日調印のソ支協定あるのみである、然して該協定の第五條に依りソ聯政府が外蒙古を以て中國の一構成部分と認め其の地域における中國の主權を認むる旨規定し且つ其の第六條においては當事國政府に對し暴力を以て反對する何等の活動を許容せず及び双方の政府は相手國の政治及び社會制度に反對せる宣傳を行はざるを約する旨規定されてゐる、この二ケ條を含む一九二四年の條約が今尚ほ有效なのであるから問題二點の心配は協定への非難としては當らぬ

察哈爾新政府が
盛大なる獨立式
國府から分離して

【張家口四日發同盟】察哈爾省政府は十四日省政府、治安維持會以下政府要人の逃亡に依り潰滅し、省內十縣の治安、財政、金融、交通、行政は全く麻痺されるに至つたので、十八日治安維持會を組織し、次いで財政、金融、交通の三委員會を創設各委員會より選出した九名の委員に依り取敢ず察哈爾省內の政治を代行して來たが愈々四日正午盛大な獨立式を擧行すると共に獨立の趣旨を中外に聲明した、同政府は民衆の總意に基く合議制を採用、軍閥政治と絕緣し明朗樂土の建設及び防共を眼目とするもので政府組織最高委員としては三日の各界代表の選擧に基き財政、金融委員杜運宇と交通委員于品卿の兩氏が就任する事に決定、愈々五日より新察哈爾省政府に於いて政務を開始する事となつた、[illegible]察哈爾作戰軍部隊の張家口入城後玆に一ヶ月早くも明朗察哈爾建設の第一步が確立された譯である

聲明を發表
杜、于兩氏連名で

【張家口四日同盟特派員發】四日成立式を擧げた察南自治政府は政府組織最高委員杜運宇、于品卿兩氏の連名をもつて政府成立の趣旨に關し四日左の如き聲明を發表した

『察南自治政府』成立聲明

茲に察南自治政府の成立に當り察哈爾地方一百万民衆に告ぐ、由來察哈爾の地は僻遠に位し文化に浴せざること既に久し、軍閥は專制を以て相望み苛斂誅求を事とせり、これが爲め人民は塗炭の苦しみに沈淪し社會の道義頽敗せり、故に志ある者は心私かに軍閥政權と絕緣し以て察哈爾民の手に依り自治することの最も適當なることを思ひ其の時機の到來せんことを待望せり然るに今次河北に起りたる事變に依り地方軍閥相次で潰滅し民生漸く樂業の緒に就かんとす、機逸すべからず、察哈爾省民衆の起つべきは今なり、即ち多年の要望に從ひ東洋獨得の倫義に立脚して政治の公明を期せざるべからず、即ち自治の組織を完備して政教を行ひ匪賊の橫行を防止して民心を安定せしめ、進んで教育を改善し產業を振興して民衆の生活を向上せしむる我等の任務は極めて重大なりと言ふべし、本委員等は茲に民衆の要望に基き委員會の推移を承け新政權を樹立し自治を實施して地方人民の福利增進に邁進せんとす、省民各位は本趣旨を理解し政府の命を遵守し流言に惑はされることなく安んじて其業に勵むべし、即今何國人たるを問はず万邦協和して省民自治を完成し省內の平和に貢獻せんことを期すべし、茲に聲明す

政務組織最高委員 杜運宇
于品卿

廣東省政府逃げ出す
飛行隊は從化に避難

【香港四日發】廣東省政府は日本軍の爆擊を恐れ肇慶（廣東西方八十粁）に移轉することとなつた

【香港三日發同盟】廣東空軍飛行隊はわが海軍航空隊の爆擊に怯え遂に一、兩日前飛行隊司令部を從化（廣東東方約百キロ）に移轉防空施設强化に努めてゐる事判明した（號外再錄）

無錫に暴動勃發

【香港四日發】八月二十四日無錫（蘇州の西北方）に暴動勃發し恐慌甚しきものと傳へらる

支那砲彈頻りに
佛、英租界に落下
干涉誘致の奸策

【上海三日發同盟】三日午前十一時過ぎより開始された浦東の敵砲兵陣地と江上のわが艦艇との砲擊戰は日沒まで實に七時間に亙り繼續されたが、虹口中心地帶に落下した砲彈の數及び交戰時間から見て事件發生以來の最激戰であつた、敵の砲兵陣地は米國汽船オーガスタ號、佛國汽船ラモント・ピケ號等の蔭に隱れわが艦艇が射擊を縮めればわが砲彈は忽ち右兩船近くに落下するが如き戰法を取りわが方の砲擊を困難ならしめてゐた、又擲砲の未熟か故意にか、支那軍の砲彈は佛租界に數ケ所落下し外人側にも多數の負傷者を出すに至つた、過般二回に亙る支那軍用機の租界對地への爆彈投下、フーバー號の爆擊の如き孰れも英米の權益を目標とした攻擊放火などより見て第三國干涉を誘致せんとする如き企圖を有する事愈々明白となつた、かかる見え透いた危險極まる奸策に趣つて列國人も憤慨を增してゐる

我が空軍の活躍
敵陣地に痛烈な爆擊

【上海四日發同盟】閘北方面の敵は增援部隊を得て新陣地を構築し虹口邦人居住地帶に對し盛んに砲擊を行ふので、わが航空隊○○機は四日午前七時頃を運れて出動、同方面の敵に痛烈な爆擊を加へつつあり

【上海四日發同盟】午前六時頃より上海上空に飛行機約〇〇台のわが海軍機は浦東、南市、閘北、眞如方面を偵察し、次いで午前七時四十分頃より北停車場及び閘北商務印書館方面の敵陣地に果敢な爆擊を行ひ多大の損害を與へた

【上海四日發同盟】わが海軍航空隊〇〇機は三日午後[illegible]の敵陣地に對し痛烈な爆擊を敢行、爆彈多數を投下して敵に甚大な打擊を與へ無事歸還した

砲擊の目標
我が居留地
無軌道暴虐の極み

【上海三日發同盟】三日午後六時三十分發表 三日午後二時頃浦東及び南市方面の支那軍は突如共同租界に對し[illegible]に於ては四名の重傷者を出し六、虹口地區內に多數の重輕傷者を出したり、[illegible]

益世報廢刊

【天津二日發同盟】大正四年排日貨運動の潮流に乘り天津に創刊されて以來終始一貫排日指導に沒頭してゐた抗日新聞益世報は天津治安維持會から發行を認められず郵送面に配達を差止められたがイタリー租界に立籠つて依然發行を强行してゐたが最近全く排擊的態度で日本に彈つき二頁に減じ餘命を保つてゐたが一日の七千六百五十二號を最後に二十二年の歷史を閉ぢた

その日その日

○

南京に、蔣介石に、危機迫る。之を救ひ得る途は、第三國の干涉以外に無い——と觀念した結果だ

○

この結果か、[illegible]何もあつたものでなく、孰れかぶれの[illegible]

○

もう少し負けてゐると[illegible]

○

の干涉と[illegible]から

○

綏遠方面に、防共の大堅壘固められてゆく、平津方面は之につて先づは安泰

○

いくら支那だつて、橫紙破りのコミンテルンとの握手を喜ぶ譯も無いさ、愈々、火の車

○

帝國議會も、戰時らしいスピード振りだ、日本的なものの一つ

動く、動く。動くに從つて心は靜まるを要する、[illegible]に於ても亦然り

人事

▲野原拍氏 四日退官挨拶のため來社

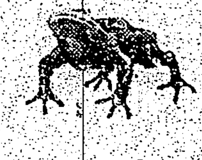
▲吉田一郎氏（日本アルミニウム專務） 三日夜行にて高雄へ

▲梅野高次氏 六日[illegible]へ戻る

無絃琴

機械の空は今や電波の大混亂時代だ、ラヂオ放送による宣傳狂時代だ、あらゆる波長の短波や長波が、晝夜に亙つて大空に波打つてゐる、この電波の中には、官公署からするもの、放送局を經るもの、暗號用のもの、または其他の秘密を包んだものなど時局の急迫と共に縱橫無盡に入り亂れてゐる▲南京放送局の七十五キロに對し今度蔣國では[illegible]口市に百五十キロといふ彼の倍のものを作り、この中の第二の方の試驗放送が先月始めに行はれた、勿論長波なので長距離には聊か不向きだが其の代り近距離に於ては實に明瞭に入り大衆宣傳效果を擧げるだらう、臺灣にも百キロの放送局が出來る事になり、[illegible]といふ段取りだらうだ▲問題の中心地上海には、二十何國の放送局があるが、右は一キロ位の小出力のもので[illegible]用に自由に利用してゐるのだらう、だが、我が大東放送局の如きも其の穩りものだらうといふ。

浮標(ブイ)のごとき女(をんな)
（80）
尾崎士郎作
梁川剛一畫



一事件（三）

「おや、あの何も彼も奥さんが君に打明けたんだね？」

「さうぢやないんです、あいつは何一つ僕の料簡に對して答へようとはしないんです、僕に剛情なやつで——だから、僕だつて何も僕は本氣で切るつもりぢやなかつたんです、唯、あいつが何とかひと口」

——さうだ。たしかにさうである。彼女が何とかひと口言へばよかつたのである。白石貫夫は咽喉をごろごろと鳴らした。（一戶の頭には、そのとき左手に女房の斷髮をつかんでねぢ伏せながら右手で裁縫鋏をチヤキチヤキうごかしてゐる白石の姿がうかんできたのである）

だが、彼の女房である「ミツキーマウス」はひと口も物を言はなかつた。もし、彼女がそのとき泣いてゐてさへくれたらこんなことになる筈はなかつたのである。白石は愛すべき髮の、かすかな唸りを泣きうらも決して聽き洩らしはしなかつたであらう。しかし、どうにもならなかつたのだ。

白石は何べんとなく鋏を床の上へ投げ出してしまひたい衝動をかんじながら、甲高い聲で

「切るぞ！」「切るぞ！」——

と、叫んだのである。だが彼女は石のやうに堅くなつたままぢつと彼の顏を見て、低い聲で、

「お切りなさい」

と言つただけだつた。そして、

「ぢやあ、何だな。貴樣は片岡との關係を承認するんだな？」

と、白石が、さう早口にがなり立てたとき、彼女はもう一度彼の顏を見あげて冷やかな微笑を洩らした。

ただ、こんな話をつづけてゐる最中でも白石は心の平安を失つてゐた。彼はときどき、かあつ！となつたかと思ふと、またおそろしく冷靜になつて、今にも女房に對する憤りで胸が張り裂けるかと思ふと、何時の間にか、彼女と別れたあとの野放圖な生活への空想に心を委ねてゐるのであつた。要するにもう何を考へてゐるのかわからなくなつてゐるらしいのである。

「それで、一體」

と、一戶が到頭たまらなくなつて叫んだ。

「どうするつもりかね、君は？」

「無論」

と、白石が答へた。

「わかれるつもりです」

「だが、まるで君の話は」

「いや、それで僕は」

と、白石が早口にさへぎつた。彼の感情はお互ひに嚙みあつてゐる無數の言葉の中からやつと一つの方向を見つけたのである。

それで『まことに恐縮ですが』

と、白石が言つた。

「今夜、僕のゐるアパートまで來て下さい」

「僕が？」

「さうです、實は今日、片岡にも手紙を出して來るやうにしてあるんです、だから、あなたを仲介にして早苗と片岡とを對決させた上で僕の態度を決めようと思ふんです、いや、僕はまつたく冷靜です、御厄介でせうが今夜だけは是非——」

「しかし、君」

と、一戶洋介はまつたく困惑しきつた表情で言つた。

「僕が行くといふことは」

「いや、唯、默つてそばについていただけばいいんです、どうか今夜だけ」

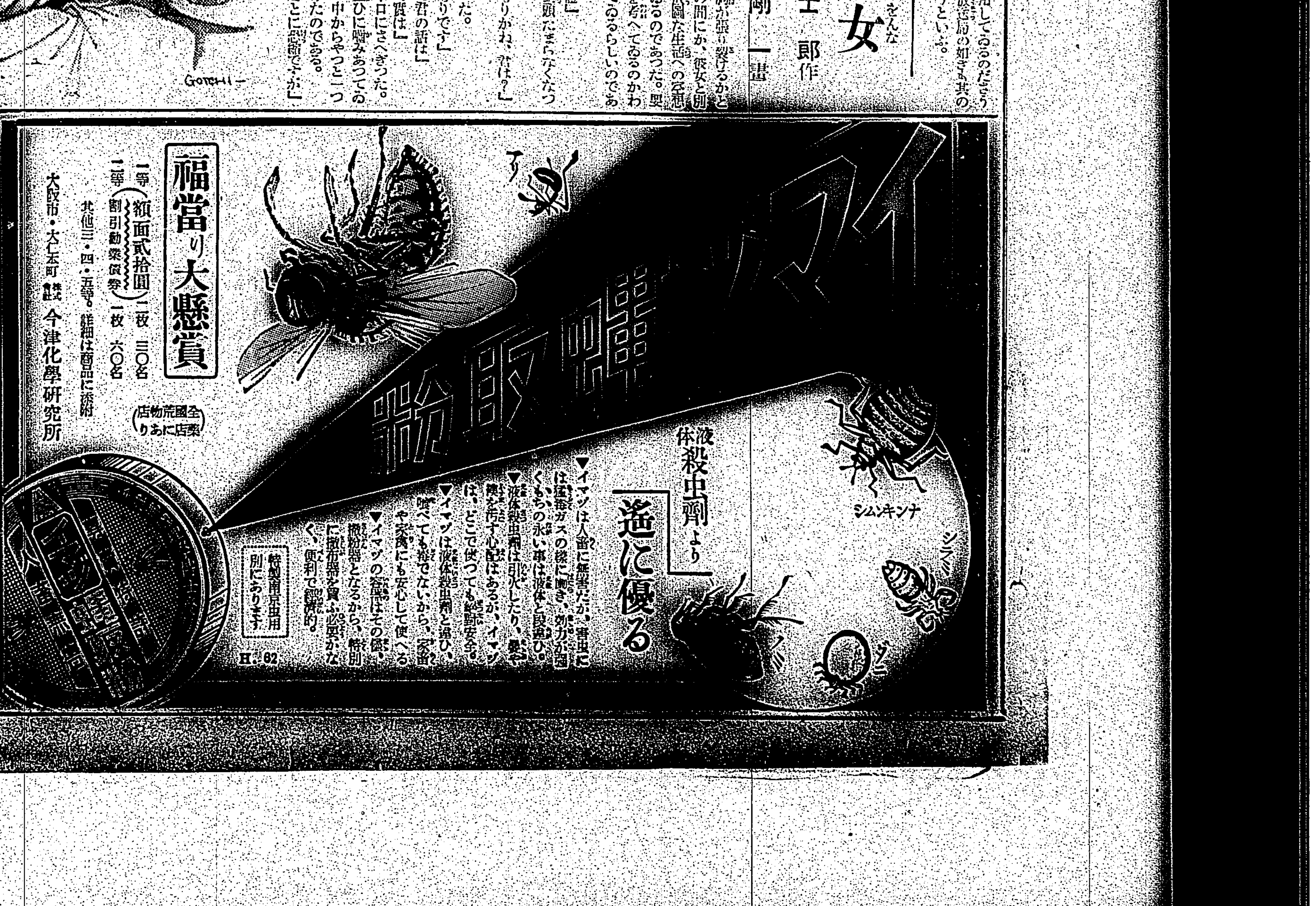
白石の眼が血走つてゐるので一戶はたぢたぢとなつた。これ故、彼は非常に低い聲で、

「ぢやあ」

と言つた。

「行くには行くがね、しかし、僕は早苗さんには何時か一ぺん會つたことがあるだけだしそれにいかに何でも片岡が」

冗談らしいといふ表情をして一戶はどつと笑ひだした。



イマヅ
蠅取粉

福當り大懸賞
一等（額面貳拾圓）一枚 三〇名
二等（割引勸業債券）一枚 六〇名
其他三・四・五等。詳細は商品に添附

大阪市・大仁本町 株式會社 今津化學研究所

（全國藥店荒物店にあり）

液体殺虫剤より
遙に優る

▼イマヅは人畜に無害だが、害虫には猛毒ガスの様に働き、効力が強くもちの永い事は液体と段違ひ。
▼液体殺虫剤は引火したり、畳や襖を汚す心配はあるが、イマヅは、どこで使つても絶對安全。
▼イマヅは液体殺虫剤と違ひ、喰べても毒でないから、家畜や家禽にも安心して使へる
▼イマヅの容器はその儘、撒粉器となるから、特別に撒布器を買ふ必要がなく、便利で經濟的。

特製南京虫用
別にあります

H.62

イマヅ
蚊取線香

イマヅ蠅取粉本舗から出た
專賣特許の蚊取線香

キ、メが強くて
もちが永いので
イマヅの一本が
他品の二本に使へる
然も香が素晴しい

今年から
蚊取りは
斷然イマヅ！

（各藥店・荒物店にあり）

大阪市・大仁本町三
株式會社 今津化學研究所

死山血河の戰
熱火の機關銃を鷲摑み
鬼神も恐る安藤部隊

【○○○三日本社特電】二日○○○海軍病院に入つた貧永、[illegible]部隊の戰傷兵は二日○○陸軍病院に轉じたが、永田少尉以下三十五勇士に依つて安藤部隊先遣隊の死山血河の奮戰が始めて判明された

二十八日から三十日に掛けて足場の惡い最前線死守の安藤部隊は二十九日の夜○○名で敵前僅かに百メートルに進出した、その夜敵の夜襲を受けて此處に猛烈な射撃戰が二時間に亙り展開され我方死者三十餘名、この時十八名の決死隊は熱火の如き機關銃を鷲摑みにして鬼神の如く躍り出し遂に敵の第一線を奪取確保した、時に曉の天に紅を染め飜る日の丸に萬歳を絶叫した、十八勇士の大半は戰傷にして其內秋田、佐藤、野垣、河井の五名の一等兵は右の歸還兵のうちにあるが河井一等兵は惜しくも船中に於て遂に絶命した（○○○にて）

四億餘圓で

五千の航空士養成
陸海空軍へ登用
民間航空の擴張計畫

【東京四日發本社特電】民間航空の擴充整備に關しては遞信省を始め民間各方面より夙にその必要を痛感せられてゐたが、永井遞相は就任以來航空國策の確立を期し、明年度豫算編成に當つて民間航空行政及び施設の積極的大擴充を意圖し陸海軍當局、大藏省及び文部省等の關係各省と緊密なる連繫を保つて目下具體的折衝を行つてゐるが遞信當局の原案たる所謂『永井航空』は從來の航空試驗施設、飛行機及び發動機の試作獎勵其他諸施設を全面的に擴張させる外操縱士の大量養成、飛行場の擴充及び中央航空試驗所の整備三項目を骨幹とするもので五ケ年、總額四億五千万円に達する航空計畫である、操縱士の養成は三ケ年に約五千名を訓練の豫定で經費は一人當り一万五千円として七千五百万円見當であり右操縱士は陸海空軍へ登用の道を開く事に諒解成立した模樣である、更に飛行場增設は全國各府縣に一箇所づつ合計約五十箇所開設の方針であるが右五ケ年計畫は目下躍進途上にある航空機關係工業に非常な活氣を與へるものとして極めて注目せられてゐる

死の街・青島を後に
最後の引揚げ
三日原田丸に乘船

【青島三日發本社特電】山東省在留邦人二万餘の總引揚げ完了の日は遂に來た、殘留邦人全部は永年苦心經營して來た地に名殘りを惜みつつ三日午後五時までに最後の引揚船たる原田丸に乘船した、人口五十万を擁る青島の市街も今は全く死の街と化し夜の八時過ぎともなれば人の往來は殆ど杜絶え、釘づけにされ今は主なき家々が淋しく取り殘され、暗い街燈に淡く讀まれる之等家々の看板が邦人苦心の歷史を淋しく物語つてゐるのみだ、然も今後一夜で住みなれた青島に訣別せねばならぬ、邦人工場地帶に隣接する飛行場には三百餘の穴が所狹しと掘つてある、之は日本軍に使用されぬやう工作を施したものだ市中には便衣隊が相當多數入り込み邦人引揚開始以來支那軍憲ひが續出し茲一週間の間に既に三百餘名が公安局に檢擧されてゐるが充分取締能力がないので益々苦心の居留民建築物も全く掠奪の危險に曝されてゐる、夜の青島市內は闇の中からバツタリ人通りが杜絶え辻々に銃劍と鉄甲の武裝いかめしい巡警が警戒してゐるだけで無氣味にヒツソリ閑と鎭まり返つてゐる、其中を日本居留民の飼つてゐた數十頭の愛犬が主人を失つても尚去らず空家の周圍を徘徊として彼方此方に悲しく吠えてゐる姿は胸を刺される思ひだ

威風揚子江を壓す我警備艦　本社特派員撮影（[illegible]）

熱淚を呑んで
けふ引揚ぐ
大鷹總領事以下

【青島四日發同盟】四日午前九時總領事館には大鷹總領事以下最後まで殘留した邦人等が悲痛の色を面に漲らせて參集寂として聲なき裡に嚴かに國旗撤揭降下式を行ひ、君が代を奉唱、聲淚共に下る大鷹總領事の別辭に熱淚を呑んだ、斯くて總領事館の扉は固く閉鎖され大鷹總領事以下一同最後の引揚船原田丸に乘船二十餘年間同胞の血と汗を以て築き上げた青島市街に訣別し正午岸壁を離れ一路門司に向つた

大鷹總領事聲明

【青島四日發同盟】大鷹青島總領事は居留民總引揚げを完了、總領事館閉鎖に關し左の如き聲明を發した

今般本省より居留邦人全員の引揚げ命令に接し居留民は二十四年住馴れた當地より毅然として引揚げた、當館も過去十五年間に亙つて揭揚せられた國旗を降し毅然として引揚げを爲さんとするものである、日支間に再び親善が回復し再びこの國旗が揭揚される日の一日も早からん事を只管祈念するものである

藏相令孃慰問袋獻納　[illegible]省へ二十一日午前十一時頃賀屋藏相の一人娘成城學園女學部和子さん（一七）が伯父さんの陸軍大尉池谷[illegible]氏に伴はれて出頭「お小遣ひを貯めて一週間がかりで作つたものです」と心こめた慰問袋二十個を獻納した　寫眞は和子さん（右）と池谷氏

引揚民を集め時局座談會
新竹州にて

【新竹電話】新竹州では內外情勢の重大化に鑑み五日午前十時より州會議室にて對岸よりの引揚げ民十名を集め時局座談會を開催するが當日出席する者は赤堀知事、[illegible]吉田內務、[illegible]警務兩部長以下各課長その他關係者である

愛國少女團の結成打合會

支那事變の擴大に伴ひ、銃後の護りに愈々其重大性を加へつつあるので台北州下各公私立女學校に於ても愛婦其他の各種銃後の婦人團體の活動を積極的に援助す可きであるといふ意見が起り、台北州では第三高女學校上級生徒を一丸とする愛國少女團の結成を計畫中で既に州下各私立女學校長を集め意見を聽取した結果州に一任する事となつたので四日午前十時からは州下各公立女學校長を知事室に集め其打合せ會を開催したが既に台北一高女、二高女等に在りては在台將兵の被服の洗濯、繕ひ等銃後の赤誠を披瀝して居るので此愛國少女團の結成後は更に是等の女性特有の技能を組織的、大衆的に發揮する事となり銃後の守りは更に倍加されるであらうと期待されて居る

ソ聯機七十二臺
上海戰線に着く
タンク乘りも南京着

【東京二日發同盟】二日到着せる情報に據れば最近ソ聯が外蒙經由支那に空輸中のソ聯軍用機七十二臺は二日陝西省より上海方面支那軍戰線に到着、この外ソ聯人のタンク專門家二十名も南京に到着したと云はれ、又ソ聯赤軍ノレービン將軍は支那軍の參謀になつてゐると傳へられてゐる

引揚げ教員の
事務分擔が決定
それぐ配置を終る

督府文教局より、對岸各小學校に派遣して居る教員は支那事變に依り全部台灣に引揚げ、各々市內に居を構へ事變落着を待期する事となつたが、引揚教員三十五名の內六名は督府情報部附を命ぜられ、又七名は社會課發行の敎化パンフレツトの編輯に當り、校長九名は學務課內に在つて各々學校の處置殘務整理を行ひ、七名は引揚邦人子弟が市內小公學校に入學した為め各學校に應援の為め四日より市內各小公學校に配置される事となり、殘り十名は保留といふ風に夫々配置を終つた

マ病を押して參加
簡閱點呼の成績良好

先月末本島各地に於て簡閱點呼を執行した軍司令部深村中佐は點呼を終り九月一日歸北したが、曾よく現下の時局を認識して軍紀嚴肅諸動作敏活好成績を收め、同中佐は四日朝軍司令部に於て次の如く語つた

本年度簡閱點呼は九月初旬を以て無事終了したが其の結果を綜合するに極めて少數の事故者はあつたが流石に時局を反映し一般に頗る緊張し各關係者の多大の努力と參會者の熱心なる活動とに依り其の成績は良好で特に一般に軍紀嚴肅、精神充溢し諸動作も亦敏活で良く有事の際に於ける在鄉軍人の心構と準備の程が窺はれ心強く感じた、臺中州東勢郡[illegible]男二十一歲の如きはマラリヤ病の為め一ケ月半前より入院加療中で尚ほ[illegible]の入院安靜を要する身を以て杖をつきつつ毅然として病を押して參加した如き兵役義務心の發露であり有事に處する在鄉軍人の本分を盡したもので人々を痛く感激せしめた、正に懦夫をして起たしめ無屆不參所在不明等の不屆者を愧死さすに足る、時局の前途は今や逆睹し難く何時如何なる事になるかも知れぬ、今日は勿論將來に於ても本年より以上の良成績を收めんことを切望して止まない次第だ

十字砲火を冒し
敵堡壘に突込
獅子林砲臺の占據戰

【上海三日發本社特電】獅子林砲臺占據の詳報は三日漸く上海に到着されその勇壯無比な皇軍の活躍は聞く者をして感激せしめてゐる、即ち淺間部隊は三十一日夜強行軍を行ひ途中匪か潛する敵を擊退しつつ進撃を續け一日午後四時獅子林砲臺より射ち出す迫擊砲、機銃の十字砲火の中を物ともせず同砲臺前面のクリークを渡河して敵陣線[illegible]米の前方より一齊に突擊を開始し尾上少尉の○○名が先頭を承はり堡壘の中に躍り込み頑強に抵抗する敵を突きまくつて午後四時三十分之を占據し獅子林砲臺の空高く日章旗を揭げたのである

"奸漢"を虐殺
慘狀を映寫、逆宣傳か

【香港四日發】廣東方面に於ては頻に奸漢を稱し罪なき上海避難者を捕縛し虐殺し其の慘狀をフイルムに收めて居る、之は日本側の惡辣なる行為として宣傳に使用されるものと見られて居る

福建の土匪猖獗

【香港四日發】福建省長汀附近の土匪は其後益々暴威を逞しうし既に保安隊も匪團と合流して治安を亂して居る

北平、張家口間の列車完全に開通

【張家口三日發同盟】北平、張家口間の平綏線は二日より八達嶺の隧道を除き完全に列車の運行を開始した

ソ聯の輿論沸騰
汽船二隻を擊沈され

【モスクワ三日發同盟】[illegible]地中海西部におけるソ聯汽船チミリアゼフ號擊沈事件に引續き、[illegible]更にギリシア近海においてブラゴエフ號が某國潛水艇に擊沈されたとの報道はソ聯政府並に一般大衆に多大の衝擊を與へ各地の[illegible]

[illegible]

樂土臺灣を後に
約二千の支那人引揚

【基隆電話】四日本島在住支那人の大量引揚げがオランダ汽船Ｊ・Ｃ・Ｊラインチメガラ號によつて行はれる日であり又豫定を繰上げて商船南支航路香港丸が支那引揚民を乘せ高雄經由香港に向ふ日でもある、片や外國船によつて厦門へ、片や日本船によつて香港へ二組の引揚げ支那人が埠頭で鉢合せをする日である、チメガラ號は午前十時入港して千四百名を乘せ、香港丸は午前九時三百名の支那人を乘せて出港、この日一日だけで一千七百名の支那人が一時に樂土台灣を捨てて何を考へてか唯前途には死が待つてゐるだけかも判らぬ危險極まりない本國へと引揚げて行つたのである

入港　やつとチメガラ號が　之は最初長崎から入る豫定のチサロアー號の代りとして香港より特別に仕立られて來たもので特別念入りな檢疫を受け內港九番ブイに繫留十一時から愈々引揚部隊進軍となり最初は各地方より送られて來た途中退去者百名六百名復行の姿で水上署前に整列雨中係員の檢査を受けて棧橋に次いで一般支那人が堰を切つた樣に流れ出すのを警察、憲兵係員もビショ濡れになつて鮮かに檢査を終

豪雨に濡れ鼠
將に戰場の樣な混雜

【基隆電話】支那人の大量引揚げが行はれる四日は肝腎のオランダ汽船は何時入るやらはつきり判つてもをらぬのに張て基隆市中の旅館や市內各旅館で待機してゐた支那人連中は氣もせかくくと又午前四時半と言ふ暗い中から續々と稅關波止場に殺到し同六時には早くも五百名を突破、丁度チメガラ號と香港丸とかち合ふのを整理する為め水上署では稅關旅具檢查場の向つて右手商船側に香港丸乘組に左手郵船側にオランダ汽船乘組の者を待たせる事にして嚴重に繩を張りめぐらし制服巡查を配して關係者以外は一歩も繩の內には入れさせぬ物々しさ、水上署は東署長陣頭に立ち制私服警官を指揮し之に稅務部を隊長とする陸上警察隊や憲兵隊が加はり種々の整理混雜命令に當る、引揚げ支那人は續々數を增し來て名簿の整理を始める午前十時

身代　ありつたけの大きな荷物をリンサと持込まれて埠頭は[illegible]

[illegible]

る、稅關旅具檢查場には各地方よりの委託を受けた基隆市稅務課員が頑張つて、踏倒した者を引ッ捉へてはチチンくと稅金を納めさせてゐる、荷物は赤帽組が運搬する、棧橋には本船迄の海上輸送陣を承はる艀船組合の艀舟百隻が待機してゐて料金一人五十錢づつで蝗のやうに本船に漕出して行く、この日の基隆は將に

戰場　そのままの騷ぎ　踏倒された借金を是が非でも取立てんと本島人債權者數名が首實驗の為め跳び廻り支那人の妻になつた本島人女が「別れるのは嫌だ」と駄々をこねる等の異風景もあつて基隆未曾有の騷ぎであつた斯くて乘込んだ總計一千四百名出港は夜に入る

【寫眞は早朝より基隆稅關埠頭附近に集つて雨にもめげず頑張る支那引揚げ民（昭和十二年九月四日第二〇四號基隆要塞司令部許可濟）】

首相が明晩
全國に放送
政府の決意を

【東京四日發同盟】非常時日本の重任を背負つて立つ近衛首相はわが帝國政府の時局に對する固い決意を廣く國民に認識理解せしめるため五日午後八時から十分間ＪＯＡＫから「帝國政府の決意」と題して講演放送を行ふこととなつた、講演內容は五日の議會における演說の要旨でＪＯＡＫでは全國中繼を行ふ筈

あすの天氣

臺北地方	東の疾風晴後驟雨
北部地方	北東の疾風曇後驟雨
東部地方	北の疾風曇後驟雨
西部地方	北の弱風晴後曇
南部地方	北東の疾風晴後驟雨

今晩の映畫

◆芳乃館　晝十二時上映
1 月光の下に　[illegible]
2 風流五家族　[illegible]
3 燃たり皇軍　[illegible]
4 大每日北支事變ニュース　[illegible]
5 本所七不思議　[illegible]

◆大世界館　晝十二時半上映
1 お父さんの歌時計　[illegible]
2 肉彈總攻擊　[illegible]
3 美人賓　[illegible]
4 滿日ニュース、[illegible]
5 パラマウントニュース、朝日特報ニュース　[illegible]

◆新世界館　晝十二時半上映
1 元祿七化け　[illegible]
2 パ社ニュース　[illegible]
3 爆彈二等將校　[illegible]
3 陸の野郎　[illegible]
4 忍術火阪城　[illegible]

◆タイゲキ　晝十二時廿上映
1 姫君御滿足　[illegible]
2 不知火若衆　[illegible]
3 臺日ニュース、日支事變ニュース　[illegible]
4 戀人の日課　[illegible]

◆國際館　晝十二時半上映
1 銀翼の戰標　[illegible]
2 臺日ニュース、支那事變ニュース　[illegible]
3 永遠の戰場　[illegible]

第一タクシー　株式會社
城內營業所電話[illegible]
御成營業所電四四九〇
城東營業所電二七〇一
メーター確實・晝夜無休

銃砲は橫濱の
金丸に限る
橫濱市中區仲町通一丁目四十七番地
金丸銃砲店
（店主　西村潤藏）

臺北案內
書籍　最近支那大地圖　臺北榮町[illegible]
醫院　性病科永吉病院　電話二六五〇番
Ｘ光線新設　兒科內科小林醫院　臺北大和町[illegible]
內地土產　麻豆文旦　矢野商店　臺北市本町二　電話五三三番
檢査　桐田の麻豆文旦　臺北榮町　桐田商會
樂器　山葉オルガン　臺北市榮町[illegible]　日本樂器
ＨＭＶ蓄音器
新古　洋樂レコード　臺北[illegible]
蓄音器月賦賣出　臺北本町[illegible]
寫眞　オリエンタル　臺北市榮町[illegible]
カメラと材料　フタバ寫眞機部　臺北市榮町二　電話七〇〇番
カメラ中古品高價買入　臺北市京町[illegible]
時計眼鏡　和田はメガネ專門　臺北本町通り電六[illegible]
メガネ專門金光堂　[illegible]
料理屋　大衆向き宴會大勉強　魚文　[illegible]
生そば辨金　京町店
壽司　[illegible]
治療所　脚氣妙法　[illegible]
電話　電話商品券　[illegible]
金融　電話商品高價買入　三成社
小口金融　[illegible]
藥種商　喘息にワンカ　[illegible]
淋病に黑燒　[illegible]
ラヂオ器械　[illegible]
雜件　婦人子供　村井
新荷着　靴下　村井
特許　辨理士　岸喜鑑
商標　[illegible]
各種ベニヤ　[illegible]
風呂桶は　山地桶店　臺北市[illegible]
二等　玄米精乳牛乳　[illegible]
秋蒔新種子　[illegible]
神輿、神棚、佛壇　[illegible]
運命透視[illegible]
旭印靴クリーム　[illegible]
運命及姓名判斷　[illegible]
平戶の招味噌　[illegible]

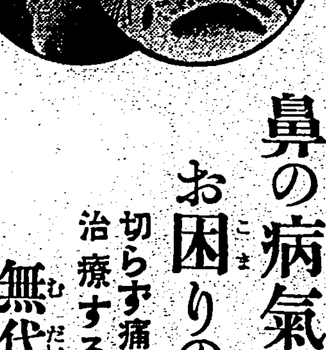
生徒募集
公認　東洋自動車講習所
晝間九月十一日　夜間毎月十日開始
活動寫眞應用設備　內容全島一
臺北市蓬萊町[illegible]
（規則書申込次第進呈）　所長[illegible]

專門花柳病科　周盤石
台北市太平町三丁目（大稻埕入口）　電話五五三

[illegible]

お待ち下さい
近日發賣

キング 日支事變號
支那詳細大地圖つき
大附錄　偉い値打の
事變大畫報、命がけ從軍記、壯烈實戰談、籠城手記、報國詩歌等々百餘頁の大感激特輯發表
お申込は即刻！
●大特價　六十錢　スグ書店へ



鼻の病氣でお困りの方に
切らず痛まず病根から治療する「最新療法」
無代頒布！

●膿（青黃色い膿）が絶えず鼻にたまり●呼吸苦しく●鼻汁が臭く●物の香がわからず●鼻のツケ根が痛み●鼻がつまつたり乾いたりする人●年中鼻をかまねばならぬ●眉目のあたりが痛み●耳鳴り●頭重頭痛●物覺えが惡くなり●根氣がなくなり勉強や仕事が嫌になる●始終ぼんやりして氣分が優れず●視力が衰へ●精神が統一せず●不眠症、憂鬱症、神經衰弱のやうになる

こんな方は蓄膿症や肥厚性鼻炎になる心配があります

鼻の病の治療は從來、手術によるか、或はツケ藥噴霧吸入法等の局所療法によつたのですが、鼻の病氣は體質的に原因があるので、局部の手當てだけでは全治しない。病根とも云ふべき化膿性體質から改造しなければダメだと云ふ新學說新治療法が醫學士馬場和光先生によつて發表されました。斯界の權威醫學博士佐藤新吾先生もこの新治療法を推獎されてゐます。本療法によりますと、切らず痛まず病源から治療が出來、再發の恐れもないのです

鼻の惡い人、再發でお困りの方に佐藤博士推薦馬場醫學士著『蓄膿症は切らずに治せ』（四六判八六頁）を一人一冊無代進呈致します。左記宛ハガキで直に申込み下さい。

（申込所）　東京市牛込區原町三ノ五　アトリヱ社藥品部

威風揚子江を壓す我警備艦 本社特派員撮影

きのこを圖案化して應用した婦人帽と手袋、一寸シュールな味がありますね

何が彼等を不良にしたか？

子を持つ親に「贈る實例の數々」

（一）

子を持つ親は、誰しも我子が善い人であり立派な社會人となることを望まぬ者はありませんが、その親達の期待を裏切つて、不良少年少女が次々と出て來て家庭を惱まし、警察や學校に世話をかけ、社會の人々に迷惑を及ぼすのであります。この非常時に當つて次代の國家を背負ふ第二の國民達の不良化といふ問題は、國家の消長にも關係する重大な社會問題です。この不良少年少女も突然にかういふ名稱をもつものではなく、それを持つ[illegible]の中に、自然と不良化するので、それが何かの機會に[illegible]するのです。それで「何が彼等を不良にしたか？」といふことは、子をもつ親達は勿論、ひろく社會人にとつても大いに注意すべきことでせう。以下警察部不良少年係[illegible]係長のお話です

淫婦のおまさ

（十七歳の美少女）

淫婦のおまさ、或は[illegible]のおまさといふ仇名をとつた十七歳の美少女を取調べましたが、これは美貌をたてにして、常に令孃風を裝ひ、日傭の女中を連れて、よき[illegible]を漁つて歩き相手から金品を捲き上げたり、又は汽車の中で[illegible]、時計をスッたり、或は常に二三名の不良を手下にして惡事を働いてゐたのが檢擧されたのです。彼女の語る處によれば、次の通りです

× ×

彼女は四歳にして生母を失ひ、七歳の時から繼母に育てられた。[illegible]かこの繼母が一般の常識からいへば非常に行屆いた良い母親であつた。

「親のない子供はひがみ易い」「親のない子供は可哀相だ」といつておまさの欲しがる物は何でも買つて與へ、活動にやる、芝居にやる、洋服も買つてやるといふ風で、父親は「そんな贅澤をさせては家庭の經濟が立たないではないか」と苦情を言へば、自分の[illegible]衣裳を賣つてまでも、繼子の慾望を滿してやり、派手な着物を着せて、おまさの思ふ存分遊ばせ、喜ばせてゐたのですが、或日あまり夜遊びが續くので、この繼母が意見をしたのがキッカケでその晩おまさは家出し、これから彼女の不良化が初まつた譯です。

× ×

はじめ彼女は年齢をかくして喫茶店に雇はれ、不幸にして不良の爲に貞操を奪はれてしまひ、その爲に彼女は『女としての何等價値なき者になつた』と自暴自棄になり、どうせ死ぬなら太く短く、おかしく、をかしく一生を送らうといふ決心をしたといひます。そして姐御といはれるのが嬉しく、常に不良を二三人手下にしてカフェーや喫茶、ダンスホール等に[illegible]れて來ては、來客の金品を掠め[illegible]、手下に[illegible]かせ、又は[illegible]ひ寄るお客を手下の不良に恐喝させてゐたのです。彼女は言ふ。

「母親の仕打があまりひどいので家出しました。母親は私の欲しがるものは何でも買つてくれました。活動にも、芝居にも自由にやりお金も澤山くれました。派手な着物も買つてくれたのです、然し眞實に私を愛してゐるなら、あんなにまで我儘をさせなかつたでせう。繼母は私を可愛くてしたのではありません、親戚とか、近所、父親などの手前、自分が繼母と呼ばれたくない爲に、つまり自分の立場をよくする事を考へて、私をチヤホヤしたのです。その結果が私の我儘が增長して家出といふ事になつたのです」

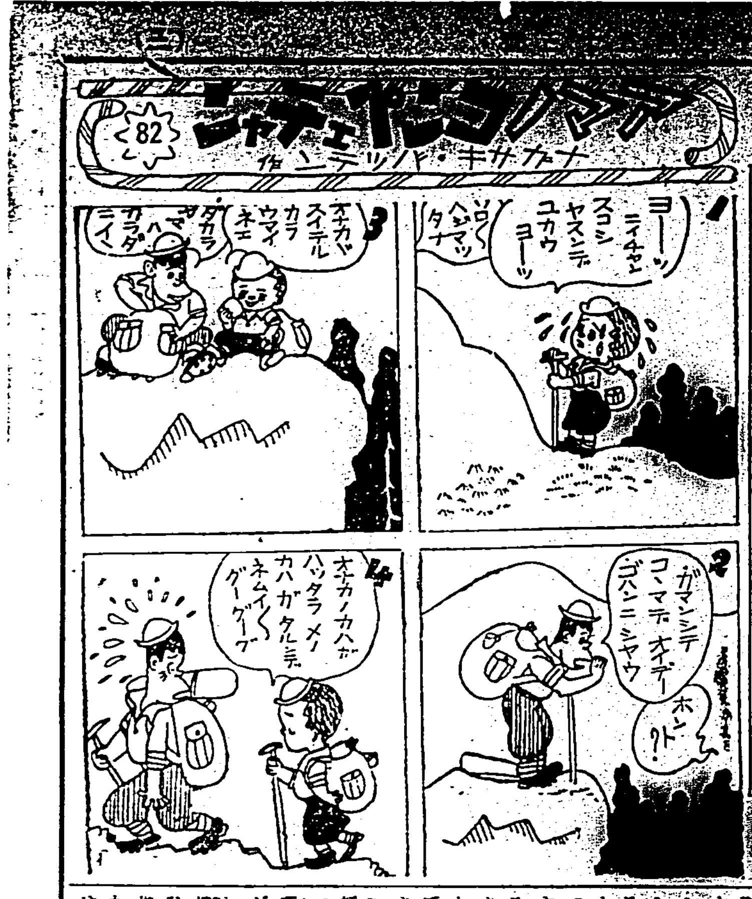
相談相手もなく思案に餘る精神上の問題で御相談になりたい方は手紙で身の上相談係宛御申込下さい、電話や面會は御斷りします

夫が妾狂ひ

問 私は今年十九歳の女です、戀愛結婚に成功し夫との間も人に羨まれる程の仲でしたが、去年の春良人が商用で海外に旅行し異國の花の香に迷うてその土地の酌婦女を妾にし、家を忘れ妻を忘れて狂熱の生活に陷りました。弱き女である私の前途は全く暗黑となり、死の途さへ一時は考へた程です。これもすべて運命の惡戯と悲觀するだけで抵抗する方法もありません。生活の爲就職したいと思つても今日なかなか手易く職も得られず困つてをります、一そ離婚した方がよいではないかと思ひますが如何でせうか。或は別によい工夫が考へられませうか、無情の良人に向つて復讐したいがそれでよいでせうか。それとも自殺し果てるべきでせうか。（K子）

夫の人格を再認識せよ

答 大さう興奮してをられます。心の動搖がひどい。お年が若いし戀愛に出發した夫君に背かれたといふ打擊で顚倒されてゐることは決して御無理でないと同情申上げます。けれどもここはもう少しおちついて考慮なさらねばいけない所です。夫君は現在外國にをられるのか、その女を連れて歸つて來てをられるのか、別に同棲してをられるとしてもその女とも貴女と同棲しながら女を他に圍つてをられるのか、甚だ明瞭を缺いてをり、且又御夫人御身邊の[illegible]向などもはつきり致しませぬので、折角御相談をうけても滿足するやうな御相手が出來かねるわけです。が何れにしても御夫君は夫婦間の貞實といつた事に就ては嚴格な御自覺をお持ちにならず、所謂多情的性格でいらつしやると思ひます。曾て男性に對する[illegible]に無能力者であつた少女たる貴女の前に、甘美極まる囁きをもたらして貴女を陶醉せしめたであらう夫君は、やがて旅の孤牀のさびしさに堪へで異鄕の花の香をしたふ多情漢であつたわけです。愛を語つて父母を忘れた男は、今また戀に狂つて妻を忘れてゐるのです。貴女の今の困惑はお氣の毒ながら取つて以つて男性の甘き誘惑に對する世の少女諸君への誡としたいと存じます。戀愛結婚に成功したと考へた時、既に警戒すべき大なるものを感じなければならなかつたのです。一口にいへば貴女は[illegible]すぎたのです。男の無責任無情は申す迄もないのですが、貴女は[illegible]それを責めるべき勇氣がわきますまい。復讐はどういふ計畫でなされるのかわかりませんが以ての外です。怨むより前に省みねばなりますまい。親も兄弟もありませう。この際つまらぬ外聞を棄ててよく打開つた御相談をなさい。信頼すべき方々の意見が夫の人格に望を屬しないやうなら、離別をとるのがよろしい。旅行をなさらなかつたとしても夫君はかやうな危險な[illegible]をいくらでも作る方だとは思ひませんか。まだ十九といへば子供同然です。自殺しなくとも生きかへるのに決しておそくはありません（係）



82
ジャチャンコパパ
作 [illegible]
ヨーッ チイチャン スコシ ヤスンデ ユカウ ヨーッ
ソロソロ ヘバツタナ
オナカガ スイテル カラ ウマイ ネエ
ダカラ ママハ カラダニ イイ
ガマンシテ コヽマデ オイデー ゴハンニ シヤウ
ホント?!
オナカノカハガ ハッタラ メノ カハガ タルンデ ネムイ グーグー

御存知ですか

海老の揚げ方

海老の天ぷらは、眞直にからりと揚つたのが上手な揚げ方です。眞直に揚げるには、腹の方をくるつと背の方に強く曲げて、腹の筋を切るのです。またちよつちよつと腹の方に庖丁を入れてもよいのです。要に角腹の筋を切るのがコツです。次に海老はよく油がはねます。それは尾の先をちよつと切つて、庖丁か指先できゆつとしごいておけば決してはねません。

隨筆 水

長谷川かな女

降らない。一ケ月といふものまるで雨が降らない。驛の外の往來は泥濘の[illegible]を撒き散らしたやうな土埃がぼこぼこと積つてゐて大きな風が吹く毎にそれが舞ひ上つては若木の松の上や庇の上に殘して再び往來に下りては前のやうに積つてしまふ。少しばかりの水をちやぼちやぼまいた位では何の驗も見えない。

水が欲しい。洗濯の餘り水でも風呂の古水でも水でさへあればいい。顔を洗つた水、そんなものは如才なく手近の灼け土に吸はせるのだが、往來の土埃までは到底手がとどかない。夏も水切れ、冬も水切れ、寒暑に人が尤も疲勞する時と云ふと[illegible]井戸を持つたのが失敗である。十年間といふものしみじみと水の苦勞をして來て、今年の夏も雨の降らない數日が續いたのであつた。

水と云へば[illegible]の心[illegible]まれて、日中は停車場の前にぢつと太陽のやうに[illegible]つてゐる。このやうな時に早四回に亙つて應召の兵士は十名二十名づつ驛を發つてゆく。

昨日は或部隊に編入されて一隊となつたそれ等の人が〇〇を出發した。晝下り一時、といふと草木も眠る最も日光の直射の烈しい時であつた。〇〇〇〇の入場許可證を持つた私達はホームの人波の中に立つた。前車が兵士の乘るところで、後車は[illegible]〇〇の兵士は一列に並び、[illegible]部を、肉身、知己、これ等から一時に受けてゐるのに誰の面にも[illegible]は見せないやうであつた。乳兒を夫の腕に抱かせてゐる妻もある、後の事は心配なく行つて下さいと、勵ましてゐる女房もある。見送り人の後方に立つて出發してゆく夫の顔を見守つてゐる若い妻もある。[illegible]を背く額に[illegible]ゐる高齢の女の兄はどうしても泣き止まない。あいつの手、急に固くなつてしまつたぜ、何でこそこそしてしまつたんだらう。兵士と握手をした一人の男が自分の掌をさすりながら自分と友人の間が最早單なる友人關係でなく兵士と見送人と云ふはつきりした段がついた事を意識して他の男に語つてゐる。[illegible]

君が代萬歳は[illegible]に代りて[illegible]萬歳、々々、々々、誰も人も區別なく萬歳萬歳といへば、それに唱和しこちらで萬歳、と、いへば左[illegible]で唱和するといふ光景であつた。

白の制服で身を固めた國防婦人會の人々が番茶のバケツを提げて廻つて來る。半分も減つてゐない番茶バケツが重さうにコンクリートの上に置かれる。氷片がゆらゆら浮いてゐて咽喉の渇きを刺戟する。

この邊の方、少し上りませんか、お茶は如何です。驛のベンチに[illegible]くるしくより添つてゐる人々の前にバケツを茶碗を持つてゆく婦人もあつた。

劇戰中の戰地目がけて出發するのは、種々あるには違ひないが、兵士達に第一に上げたいと思ふものは"水"をとは誰も思ふところであらう。風呂にも容易に入浴出來ない戰地、飲料水に不足の土地、汗、疲勞、斯う考へて來ると"水"が最もあげたいものであるやうに思ふ。夏冬の水に不自由する時に

私は何を言ふよりも、今日は少し水が出て來ました、と家人から聞かされるのが一番嬉しい。

人の心は或る時は皆同じになるものだ。兵隊さんは何所の驛に停車しても屹度お茶責めに逢つてゐるに違ひない。今發つた兵隊さん達の中にはアイスクリームを貰つて有難いやうな困つたやうな顔つきで小さい木の匙をしやぶつてゐた人があつた。汽車がホームを出ると、あゝ、私が御馳走になりませう、と殘つた麥湯を柄杓でがぶがぶと呑んだ婦人達もあつた、といふ事だつた。兵隊さんがお茶責めで困つてお此の麥湯はどしどし沸してどしどし御馳走し度い。のこつたならば柄杓で呑むのもよからうし、お茶のバケツを持ちあつかつてゐる若い娘さんの傍にいつて、一杯頂戴させて下さいとねだるのもよい。どうぞ[illegible]て下さいましと若い娘さんは態々別の茶碗のお茶を持つて來て私にお酌りして注いで下さつた。

餘計なことだが十年も水に不自由してゐた私の町にも漸く水道が敷設された。大理石のやうな柱の上部に金色に光つてゐる細い栓をひねるとしやアしやアと清冽な水が迸り出て來るのを何と愉しみに毎日眺める事だらう。水の有難さを今夏はしみじみと感じてゐる。

非常時と婦人の身嗜み

精神的の緊張が一番大切

銃後の婦人の活躍が次々に傳へられてゐますが、一般の婦人大衆もこの非常時に安閑としてはゐられないので、心を緊張させて共にこの難局に當らなければならないことは申しあげるまでもありません。そこで非常時の婦人の身嗜みですが、時節柄流行を追つたり華美に流れる事はお互ひに愼むべきでありますが、しかし、品位を保つだけの身嗜みはやはり必要だと思ひます。

昔から我國では女でも非常の場合は慌てることを最も卑しむべき事と敎へられてきてゐます。

そして、戰陣にあつても武士は兜に香をこめてゐたといふことですし、婦人が最期の時自決の場合にも白裝束をして身嗜みを忘れなかつたと申します。

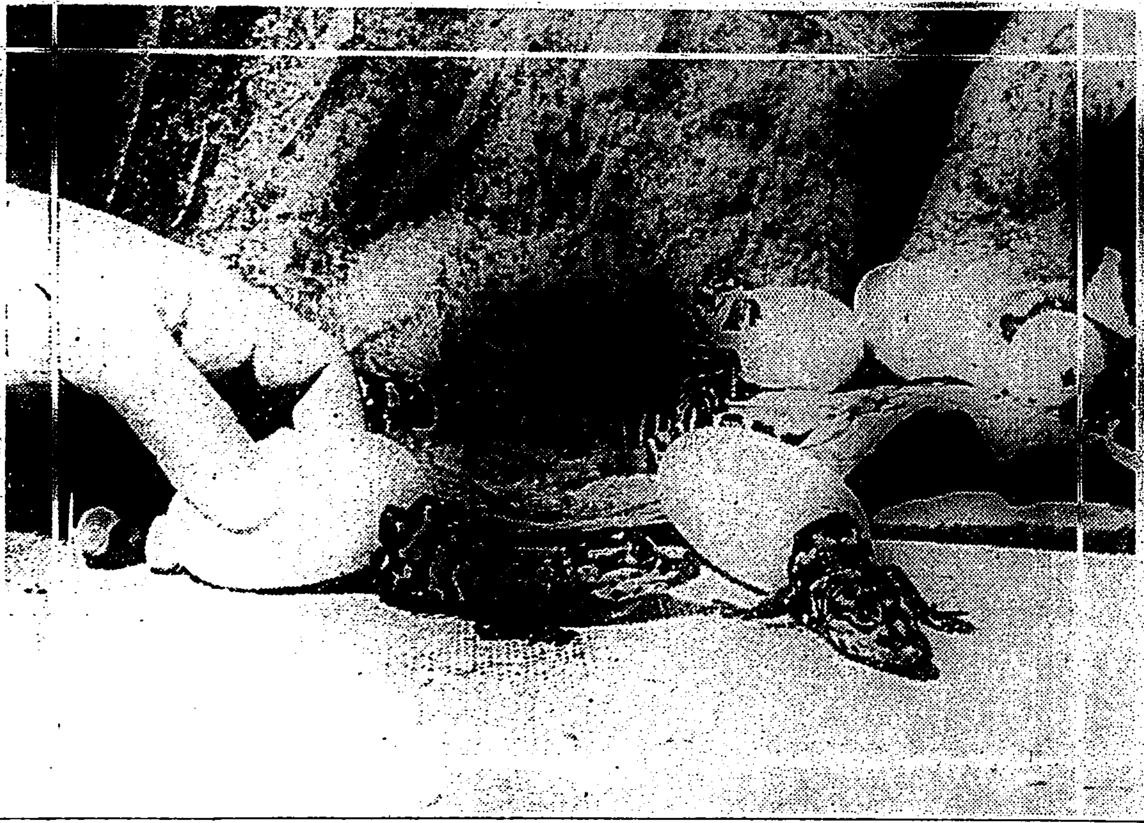
それで、服裝等はキリリとした引締つたものでありたく、だらしなく着崩れしてゐたり折目も判らない樣なお召物は感心出來ません。粗末なものでも結構ですから皺のつかないさつぱりしたものをキリッと身につけて頂きたいと思ひます。

お化粧等も勿論派手かしい濃化粧や一見如何にも挑發的なお化粧は避ける事は勿論ですがやはり上品な隱し化粧位はして欲しいものです。適當な榮養クリームで一日一回就寢時の手當をキチンと怠らない樣にして朝は輕い洗顔をして粉化粧をする位の身嗜みは必要です。

そして高價な化粧料を用ひるよりはお台所にある豐富な野菜や果實を利用するのも一つの方法です。

即ち胡瓜、西瓜等は肌の爲には非常によろしいものですからこれを化粧水代りに使ふとか、ヘチマ水をこしらへて使用する事など結構です。胡瓜は輪切りのままでお顔をマッサージして結構ですし、西瓜は食べた殘りの汁を利用しませう。

とにかく、お化粧等も簡單に時間をかけない樣に然も手製の化粧料を用ひて經濟的に餘裕を求むといふ事が大切です。そして手當を怠らずに、いつも生々とした表情をして服裝をキリッとさせることで、それには精神的の緊張が一番大切なことです（小岡浪子）

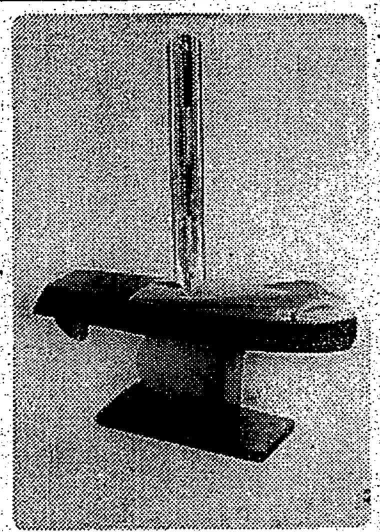


鰐の赤ちゃん

[illegible]

玩具めぐり

ローターボート、帆がプロペラのやうに早く廻轉し、輕快な音をたてて快走します



むづかしい三杯酢の拵へ方

▲覺えて重寶▲

三杯酢を造る加減はなかなかむづかしく一寸した加減で美味しくも、まづくもなります。ですから分量を少し間違へば取かへしのつかぬものになります。三杯酢の分量と其の混せ方を申しますと、先づ砂糖大匙三杯とすれば、味淋も同三杯、酢も同三杯、鹽は大匙半杯となるのです。此の際もし鹽の量の少い場合は救はれますが、入れすぎてしほからいのはどうにもなりませんから御注意下さい。

夏物の手入と藏ひ方（三）

◇主婦のノート◇

◇夏蒲團の藏ひ方 蒲團用のサックがあればそこへ入れて藏へば一番簡單ですが、わざわざそれを求めなくても古くなつた浴衣の布の[illegible]んでゐない所だけ適宜に綴ぎ合せて四角の一反風呂敷を作ります。そして夏蒲團を中央において四角から包み、結び目を作らないで平たくして安全ピンで所々止めれば蟲の入る心配もなく、最も經濟的な蒲團入れとなります。メリンスなどでしたら防蟲劑を必ず紙で包んで充分に入れておき、無くなつた頃を見計つて又入れるやうにします。

△蚊帳 それ程汚れてゐない場合は充分陰乾にして藏ひますが出來れば毎年藏ふ前に、又は一年置き位にきれいに洗濯して置きたいものです。蚊帳の洗濯といふと大仰に思はれますが次の如く簡單です。

先づ有色（赤などのへり布）のついてゐる場合は外しておきます。六八（六疊吊り）の蚊帳でしたら水一〇立に洗濯ソーダ二〇瓦（茶匙八、九杯）を溶かした中に蚊帳をたたんで入れますと、すぐひたひたになりますから足で萬遍なく踏みます。蚊帳はブラシ洗ひをすると織目が片よりますからこれは禁物です。絞る時には平たい板にのせて斜にし壓して水氣を切り、そのまま竿にかけます。普通の蚊帳はこのままでよいが、安物でぺらぺらしてゐるのは薄糊をしてもよろしい。糊はふのりを用ひ水三立にふのり八瓦内外の割合で、蚊帳が浸る位作つて糊付をします。生乾きの時取り入れて正しくたたみつけ、もう一度乾してから藏ひます。

國防指環の流行

白金の海外流出を防ぎ非常時に備へるべく

今度の事變は、各[illegible]に直ちに反映してゐますが、服裝品にも多大の影響のあるものを見逃せないのであります。最近國防指環といふのが流行してきましたが、これは白金製のもので、デザインは櫻と日の丸つまり我が陸軍のマークをそのまま眞似てゐるのです。御承知のやうに、白金は日本には全然產出しないのであります。白金の產地は、第一[illegible]、次がカナダ、英領植民地等ですが、世界の全產額の三割近くまで日本が消費するやうになつたことは注意しなければなりません。それも最近のことで、昭和二年の統計に依れば三百五十瓩（約百貫目）の輸入に過ぎなかつたものが、十年後の今日では一千一百瓩（約三百貫目）以上を輸入する程になつてゐます。白金は兵器に、機械に、あらゆる重要工業に、理化學用に必要なもので、最近その需要が增加して來たのですから、國民は白金の國内保有を心掛け、これの海外流出を防ぎ、非常時に備へる心掛けが必要なので、この意味から國防指環が流行したわけです。

昭和丁丑非常時 薫風帖（中）

石上三年 錄

[illegible]

時の[illegible]りを首途に見つ

◇

國を思ふ心足らざる[illegible]

◇

戰はよしと思はねど[illegible]

八手[illegible]

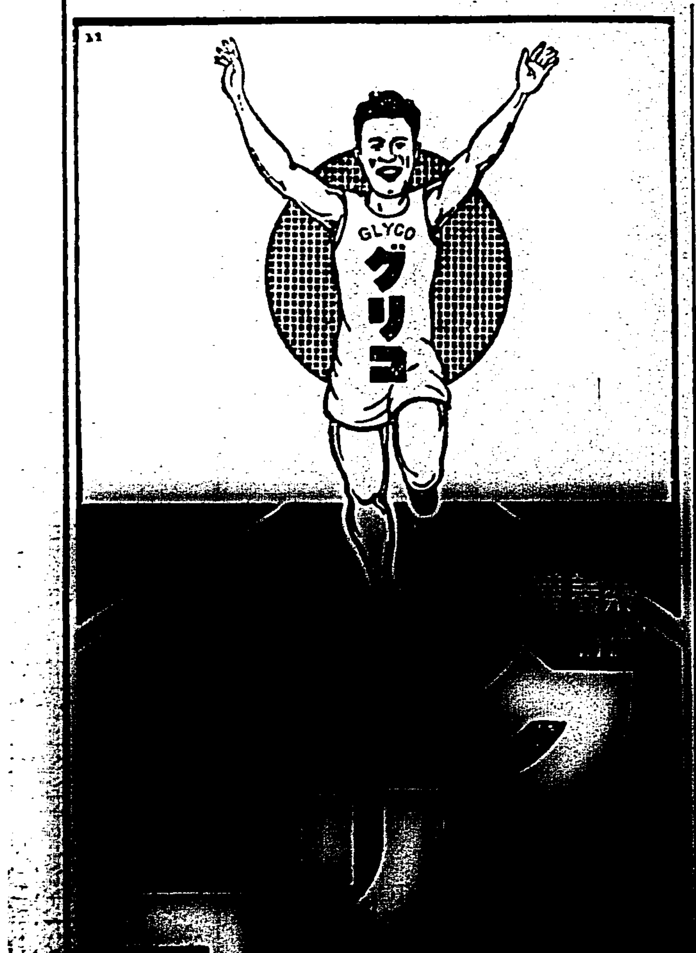
◇

夏の夜の[illegible]

[illegible]

雜誌紹介

[illegible]



ネオトン(NEOTONE)は夏痩の恢復に最適！

結核と死亡率が秋にかけて一番增加するのは夏痩又は暑氣あたりが原因であります。

生理的に必要なる榮養分を充分取らず暑さに負けて食慾進まず體重が減り體力が衰弱して夏やせに罹りその儘秋を迎へると如何に體の丈夫な人でも病氣になり易く殊に結核病又は呼吸器病に犯され易いのであります。

尙更結核病、胃腸病等の慢性病や其の他病弱の方にはこの時季が療病上極めて危險なる時であります。

ネオトンは體に榮養を供給し肺、胃、腎、神經等を補强すると同時に食慾を增進し體重を增加し以て全身の抵抗力を强化して抗病力を養ふと共に活動エネルギーを補給するが故に各官公私立病院に於いて夏痩恢復と結核豫防は勿論其他病弱の方に賞用されてゐる世界的强壯劑であります。

尙本劑は各醫師から推賞されてゐるが故に御服用なさるときは先づ醫師と御相談下さい。

適應症 肺結核。神經衰弱。萎黃病。貧血症。腺病質。食慾不振。肋膜炎。産褥。急慢性氣管枝加答兒。一般虛弱榮養障碍。心臟疾患。病後恢復期

ネオトン直輸入發賣元 株式會社 柳韓洋行
京城府西大門町二ノ七
支店・上海・大連

（全國有名藥店販賣）

柏木体温計
◎半分計
◎一分計
◎五分計
御採用
發賣元 三共株式會社

酒の惡醉 過飲 宿醉
胃酸過多症 急性胃加答兒
惡心 嘔吐 吐瀉症等には
ワツミ 制酸錠
二〇セン・三〇セン

煙草のむなら
スモカを使へ

スモカは主として喫煙家の歯磨です 故にスモカを使へば歯の黑いヤニがすぐ取れます そして喫煙家ならずとも誰もの歯を純な白さに輝かします スモカは過度の喫煙から來る口中の荒れ！臭ひ！食慾の不進！それを防いで口腔を常に正しい狀態に置きます スモカの粉末には適度の潤ひを與へてあります それは無駄な散亂を防ぐためです 一人一罐の使用量は約一ケ月强 それ以上の消費は濫費です！

全國化粧品店にあり 定價十五錢

アトリエ社藥品部

國定忠次 (45)

長谷川伸作
岩田專太郎畫

（禁上演　上映）

身投げ（一）

國定村を出て足掛け四ヶ年の夏三十四歳の忠次郎は年の割りに鬚が濃いので剃つた痕が、藍を塗つたやうである。眼は以前の忠次郎とは、人が異なつた如く鋭く、口は一文字にぐッと噛んでゐるやうに緊つてゐる。

故郷の國定へ足を向けず、けふは伊勢崎二万石の城下に遊んでゐたかと思ふと、あすは利根川から城下まで、水路が通じてゐるので問屋のある、川岸といふ土地で、賭場へ出入ひりしてゐる、かと思ふと、二日過ぎには利根を越えて武蔵の児玉郡、本庄宿あたりまで遊び歩いてゐる。

からして日を消してゐるのでなく、島村の伊三郎を四ヶ年以前の仕返しの、月矢の的に、狙ひをひそかにつけてゐるのである。

伊勢崎の賭場はその時、酒井伊

で遊んでゐたといふだけの話さ」

「それだけの話か」

「うむ、話はそれだけだが——」

と才太郎は声を落とし、

「ねえ親分。鬼殺の消とやんでの牛松、二人共、足を洗つたが、ただ足を洗つたんぢやなかつたんです」

「憶えてゐるよ、國定村へ行つて何とかいふ小倅ッ子に小ッ酷い目にあはされたんだつけ」

「それだ親分、國定村の常楽院で小ッ酷い目にあはせた小倅ッ子とは、今、話をした忠次郎といふ男ですよ親分」

「さうか、あの時の若倅は忠次郎といつたつけかな。さうさう、おらあ思ひ出した、確か、あの晩、鎧を着て寝ずにゐろとか云つて若その若倅が夜討ちに行くから俺に越したつけ」

「その野郎が舞戻つてゐるんですか」

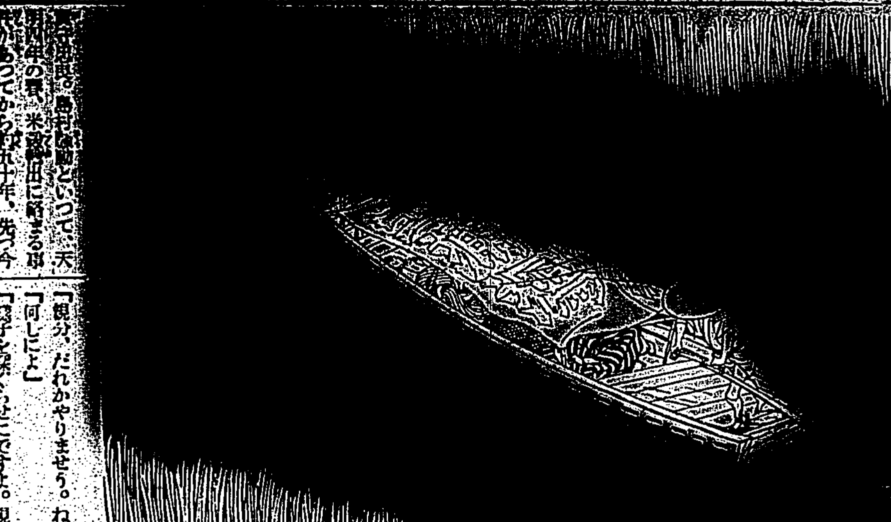
「さうかい」

「今、才太郎がいふ通り、こいつ打棄つて置きたくねえ、やんでの牛は足が一本利かなくなり、鬼殺の消公はひどい癇氣持になつてしまつたといふのも、元はその二才からですからねえ親分」

伊三郎は餘りいい顔をしない。

「鍋八、才太。さう云つてくれるのを悪いたあ言はねえが、島村の伊三郎がお前、小男に目をつけて、距角はいへめえ、なあさうぢやねえか」

と、云つたが、心のうちは必ずしもさうでない。伊三郎がいふのは、そんな奴は、お前達の氣轉でやることだ、と、いふのである。



[illegible]といつて天明年の昔、米穀輸出に[illegible]る事代があつてから約五十年、先づ今は平和な世間であつた。

この伊勢崎から南の川岸、川岸から國定村へ行つた島村の所用に働く者たちの間に、噂の噂が湧いて殘つたのを伊三郎が耳にしたのは、伊三郎が耳に聞き込んで、子分の鬼若の才太郎、鬼若鍋八、其の他三人をつれ、利根沿の島村へ戻つて行く船の中で、地方の賭場へ出かけた日暮に、

「さうさう。忘れてゐました。國定村に厄介な二才がゐたでせう、覚えちやゐませんか、忠次郎といつて三、四年前に居なくなつた二才ですが」

と鬼若の才太がいひ出した。

伊三郎は例の悪い眼をゆすり、眉根を寄せてゐる顔の悪り癖を動かせて、

「さあ、居たかも知れねえが、おらあ忘れたなあ」

「さうでせうね、あんな小倅ッ子のことだから」

と、云ふ鍋から鬼若の鍋八が、

「鍛石の、何だいその國定の二才の話つてのは？」

「いやあ話られねえ話さ。伊勢崎の吉野屋の若え者が、川岸へきてゐて、國定村から消えてなくなつた奴が生れ代つたやうな男になつて、この間中、伊勢崎のご城下の賭場

「親分、だれかやりませう。ね」

「何しによ」

「簪子を探くらせにですよ。親分に歯を剥かれえ氣なら、人を中に何とかいつて來さうなものだ。何ともいつて來ねえ処をみると、野郎、恐れを持つてゐるかも知れませんから、早速だれかやつてです。當人の本當の料簡といふものを探くつて置きませう」

「うゝむ」

と、伊三郎は氣の乗らない返事だ、と、鬼若の鍋八が、

カナ文字[illegible]

△廣東軍ノ飛行隊ハ　ワガ海軍航空隊ノ　バクゲキ　ニ　スッカリ　オビエテ　シマッテ　司令部ヲ　廣東　カラ　東方　百キロノ　從化ニ　ウツシマシタ

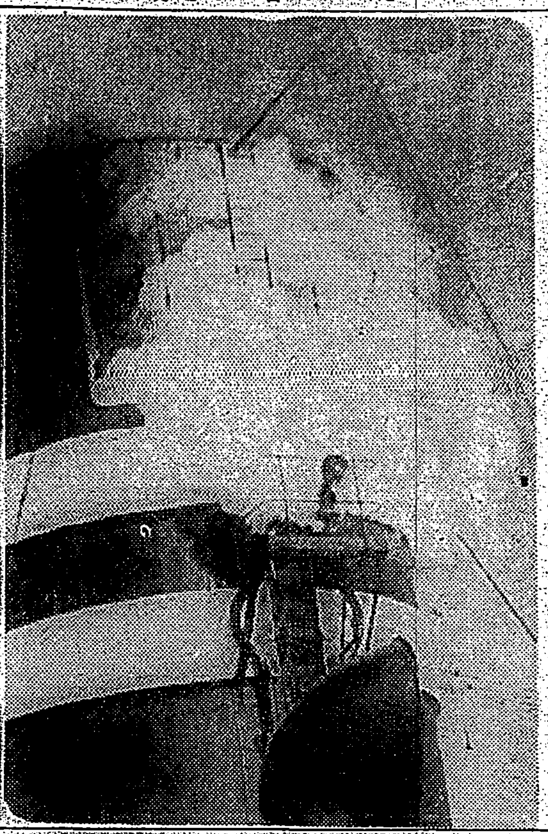
△察哈爾省ハ　支那軍ノタメ　サンザン　コマラサレテ　キマシタ　ガ　コンド　南京政府カラ　ブンリ　獨立　スルコトトナリ　四日　新政府ノ　成立式ヲ　アゲル　コトト　ナリマシタ　新政府ノ　名稱ハ　察南自治政府　ト　イフノデス

大入道は昔の傳說

海に妖怪はない

厄介な船中の死人

海の座談會（10）　本社主催



永井　此の辺で一つ海の怪異不思議と云ふものに就いて、何か戦慄するやうな氣味の悪いやうなお話はありませぬか

宮入　さう云ふものに出會つたことはありませぬが

永井　海へ大入道が出ると云ふやうなことはありませぬか

天　入道は出ないが火は燃えます、船のマストの尖端から青い火か、パッパッと出ることがある

永井　それはどう云ふ現象ですか

天　荒天の時分なんか雲が垂れて來ると、マストの尖端から青い火が見えたり、燃えたり、丁度人魂が飛んで來たやうな風に見えることが時々あります、パッと火の玉が出る、どんどん押し上げて來ます、それはフラクションと云ふのです、是は怪異でも何でもない、ちやんと理窟がある

永井　何か怪談はありませぬか、お客の中で途中で飛込んだとか、それから飛込んだ後が何うであつたとか云ふやうな話とか、云ふやうな話はありませぬか

天　氣違ひになつてですか

永井　さうでなくても宜いのですが

天　鏡を見たとか、或は部屋へ行つてうなされたとか云ふ事は聞いたことはありますが、實際はさう云ふことはないのぢやないか

永井　龍巻と云ふやうなものが現はれることはありませぬか、印度洋あたりで

天　龍巻は始終出ります

山崎　龍巻は中米あたりの沿岸ではよく出きます

永井　どう云ふ風に出りますか。ずうつと海中から柱が立つたやうになるのですか

天　水が上がる

山崎　まあ柱ですね

永井　船中で怪異みたいなものはありませぬか

天　さう云ふことはありませぬね

山崎　幽靈が出るとか何んとか云ふやうなことはありませぬか

荒木　あれは幽靈が出ると云ふことを信ずる人や、出やせぬかと思ふ人には出るので、幽靈なんかは出はしませぬね

天　よくそんなことはある。噂は言ふ、私の乗つて居りました船は卅分毎に鐘をかんかん鳴らして時を報ずる。夜になると此の當番の水夫ががんがんやらなくなつてしまふ。どうしたのかと喧しく小言を言ふと、ハイハイと言ふけれども、實際はやらない、その鐘はブリッヂの脇にあるのですが、夜が更けて來ると實に其の辺は靜になつてしまひ、燈も消すし、人つ子一人居ないと云ふ訳で、高い所へ行つて鐘を打つのは厭なのかも知れない、それでひどく小言を言ふと、「實は幽靈が出ます」と言ふのです「どうしても見た、だから行けない」と言ふ「そんな馬鹿なことがあるか、ぢや俺が一つ其処へ行つて見よう」と云ふ事になつて其処で一晩番して見ましたが何でもありませぬ、結局氣の故でせう

荒木　今ではありますかな、我々は商にばかりゐるから判りませんが、船では幽靈はありますか

永井　當世は流行りませぬが

荒木　大分和らぎましたね

永井　それからよく十三日の金曜日とか、或は金曜日に出帆するのがいかぬとか云ふことを聞きますが、さう云ふことは實際ありませぬか

天　西洋人ぢや恐らくそんなことは言つて居らぬやうです

山崎　然し船乗の連中の大西洋航路の船は、十三日の日に當ると絶對に出ないさうです

荒木　[illegible]

山崎　何とも思はぬけれども、西洋人は嫌ふので繰上げるとか、繰下げるとか云ふことを、差支ない程度にやると言つて居りましたが、命令航路は遞信省の許可を得なければ變更出來ない訳です、最初の日が十三日の金曜日でなければ宜しいので、一度出帆すれば途中で十三日の金曜日に當つても差支ない、然し命令航路は一寸厄介です

山崎　外國船は初めからさう云ふ日に出ないやうに決めてあるさうです、制度としてね

荒木　嫌ひだから仕様がない、部屋に十三と云ふ部屋はなく、十二番の次は十四番に飛んで居る、百十三番は宜いらしい、怪しはぬさうです

永井　日本ぢや、何か昔から大晦日に、船出をするといかぬと云ふ話がありますか

山崎　所が此の頃は大晦日の晩に出帆させますよ。元旦か二日に出帆の船があるとしますと、正月は税關は休みで困るからと云ふので大晦日に出ます

荒木　税關は四大節は絶對にやりませぬからね

永井　大きな鯨魚がさあつと出て來るやうなことはありませうね

天　鯨は始終出ますね

永井　ああ云ふ風に魚が相當群れて居ると云ふやうな所は御覧になるでせうね

天　魚群が船を襲つても、汽船ですから眞鯛魚に負けるやうなことはありませぬ

荒木　然し有用の魚、獸心ますからね（笑聲）

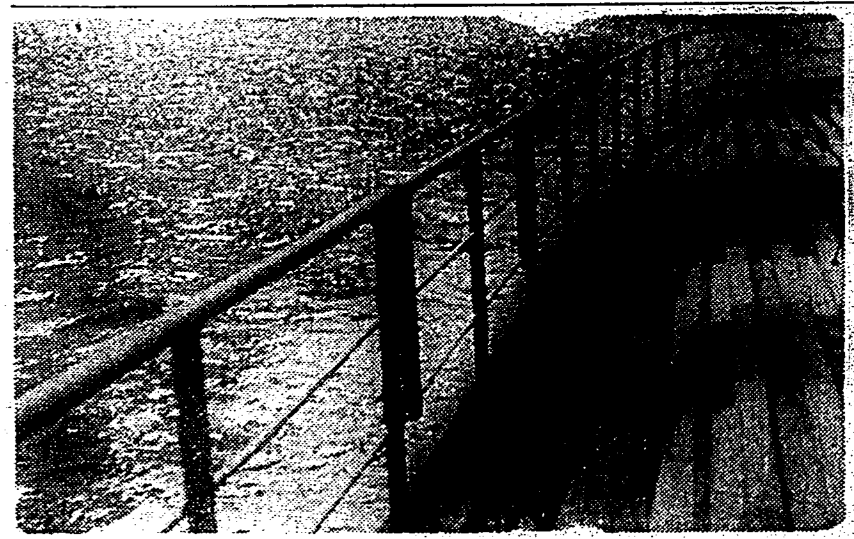
永井　何かありませぬか、怪異と思ひ出して戴けませぬか、怪異と云ふ所迄行かなくても、變つた所を二つお願ひ致します

荒木　怪異ぢやないが、支那人の首縊りをやりませうか、私は船長をやつて居て、船の葬式を大分やりました。或航海での話ですが、あまり怪異的でないかも知れませぬけれども、私が食堂でお客の前で食事の最中に、首を縊つたから來てくれと言ふので行つて見ました。三等の便所の中で支那人のお客が小さい綱で首を縊つて死んで居ります、ぶら下つて居るので一寸手を附けられない、やはり恐いです、此船にはデッキ・パッセンジャーが百人程乗つて居りました、部屋はない、其の連中の一人で、友達も居らぬのか、皆ナイチイバアバアと言つて要領は得ませぬ、所が斯う云ふことは、絶對何か知りませぬが、醫者はさう云ふ仕事は絶對にやらない。醫者は首を縊つて居るのを、始末する商賣ぢやない、腹が痛いとか何とか言ふとやりますがね。誰がやると言つても誰も手を出さないので結局私がやりました。

下からぐつと持上げた、ぶら下つて居る間は綱が掛はつて居るから宜いが、是が外れると死んだ人間の涎がだらだらと來る、ゾッとしますなあ、身體もシャツも汚れるので燈をしましたがね、それから支那人は水葬を嫌ふのです。我我は若い時分に、アメリカ航路の客船をやつて居りました時に支那人が死んだら、棺に入れる為に古糊に詰めたものです。それを知つて居りますから、明後日香港へ入るから少々臭くなつても構はぬ、直ぐに、支那語は書けませぬから英語で書いた、「民族の習慣に由つて當方香港では、香港の政廳で交渉中であるから、香港政廳で許可があれば、香港迄死體を持つて行くと云ふ原文を作つて書いて貼り出した、許可があれば此の不幸なる人は其の儘香港迄持つて行くと云ふことを書示した。それを聞いて支那人代表が十人ばかり來て海へやつては困る、海へどぶんとやられては困ると懇願して來た、そこで「俺は漢字は知つて居るが支那語は知らぬので英語で書いたのだから、誰か支那語で書け」と云ふと、英語の讀める奴が直ぐ書いた。船長が斯う言つたと支那語で書いて貼り出した、さうしたらやつと安心しました。

何故死んだかと云ふと、此の男は従兄と二人でシンガポールへ金儲けに行つた、所が片つ方は金を儲けたらしいが、首を縊つた男は一寸も儲からない、家へ歸つても仕様がないと云ふので、少し頭に變調を來したんだらうと云つて居りましたが、結局は香港で揚げました。醫者は絶對棺を振り廻して棺に手を附けぬし、大將様の者は手を附けない。仕方がないので私が手を附けなければならぬと云ふことになつた。

又或る男が死んで日本に持つて歸つて來たことがあります。電信を打つて葬儀船の汽艇を廻して呉れと頼んだ、私は湯棺でも何でもやるが、棺を擔ぐのはどうもならぬ。西洋人は總督の者が棺を擔いで車へ入れるか、西洋人でも金肪を附けて棺を擔ぐやうなことはしない、神戸へ電信を打つて、葬儀屋をすぐ寄こせと頼んでやつた。時に、聞くと昔遺骸を持つて歸つた話に、葬儀屋はお寺の殿梯子に慣れて居るが、船の梯子は上つたことはないので、途中で棺を引つくり返したので死體が出たと云ふ騒ぎがあつた。それだから葬儀屋は船の中の仕事はやらぬ、さう云ふことは船の方で世話を焼いて呉れと言ふ訳です。だから向ふから電信を打つて來た「いかん、岸壁までは船の手でやつて呉れ」と、仕方がないと思ひましたが、到頭出てやりました、斯う云ふ時には大抵水夫を使ふ、生きて居る間は例のポケットに入るチップが貰へるし、病氣中はお醫者も看護するが死んでしまふと誰も手を附けたがらない。さうして二等運轉士は事務を執るので、一等運轉士にやれと言ふ訳に行かない。水夫にやらせるより仕様がない。よいよいと降ひに來ました。ひどいのですが、降すのに私は腕力は出さなかつたが、號令ばかりかけました。奥さんはカフスボタンを私に呉れました。外へ上げる心算だつた袖口の入つたカフスボタンを躊つた。是ならきア三三功位なら樒はぬと思ひました。



夕涼芝居噺（一）

水芝居、怪談物と天竺徳兵衛

中山楠雄

一體芝居道で六月から八月にかけては昔から御難の月とされてゐて、殊に七月などは出來るだけ初日を遅らせて出してゐる位で、いはば仕方なしに太夫元も役者も開けるといふ風なのが大體のきまりであつた。しかしながら、これが八月になると、どうして夏芝居といつても、なかなか[illegible]るので八月の芝居には八朔に初日を出すといふのが古來からの習慣になつてゐる。

◇

名題連は七月の中旬過に、諸國の旅興行から歸つて來て顔を揃へ、また若い連中が旅を廻つてゐたのも、その頃には歸つてくる。そして狂言の相談やら夫々の持ち役の交渉を受ける。

夏狂言といふものは、大體一定されてゐるもので、[illegible]されてゐるもので、六月から七月へかけてのさうした芝居の世界が開いて八月に近づいたといふ[illegible]ありません。しかし先づ八月は新作を出して、その趣向をアッといはせるのが太夫元なり作者なりの見栄であつたので[illegible]多の名狂言も生まれてゐるます。

◇

[illegible]

これは化物芝居のお蔭もありませう。

兎に角、昔はさうした近代科學の生んだ器械などといふものはなかつたのですから客を呼ぶにも大變な骨折であつた。

幽靈を一本づつ出すかと思ふと、中には浮知らずの物を一ヶづつ配つたりして、今の初日にいろいろ

り、ゆらゆらと煙を立ててゐる蚊やり火などもあり、すだれがあるかと思ふと、流燈籠とか、岐阜提灯だとか、更に色々小道具が如何にも涼味ぴしく取揃へられる季節です。

昔から先づ夏狂言の根主は怪談狂言といはねばなりますまい。その次ぎには水の仕掛物を使ふ芝居、つまり舞台に本水を使つて、涼しさを客席に送るといふ手法です。

その次ぎに作り物で、尤もこの怪談狂言にしろ、水の仕掛け物にせよ、共に合併してこの仇討物になつてゐる例が澤山あります。

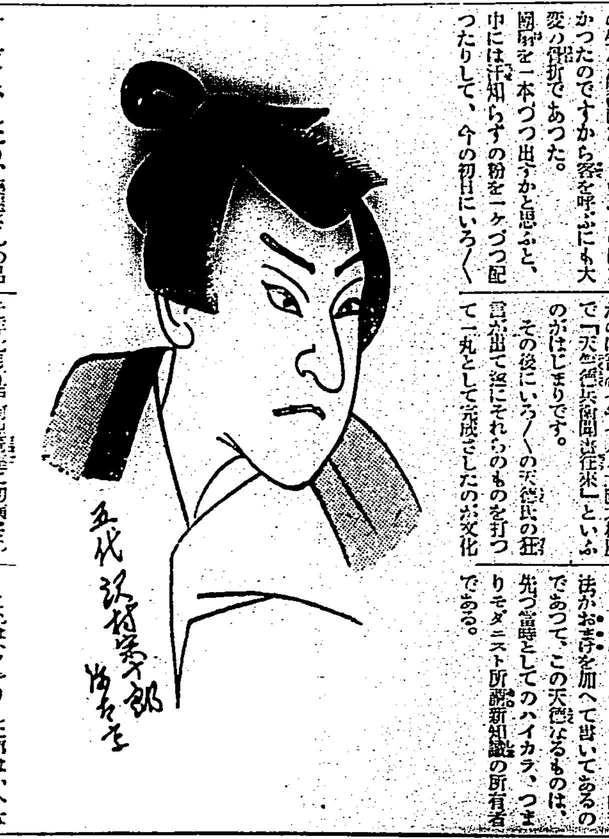
この他に外國を並べてみますと、まづ次の様な狂言が夏芝居の主なるものでありませう。

『四谷怪談』といふお馴染の狂言、それから『天竺徳兵衛』『伊勢音頭』『夏祭』『貞兵助』『累見伊助』『明子音頭』『五人男』等が夏の世界の狂言で、中には有名なものもありますが、一寸お耳珍らしいものもありますから、それを一寸お話し申してみませう。

◇

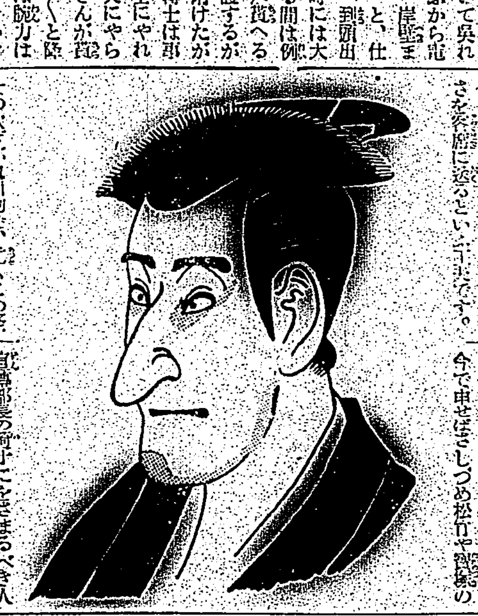
天竺徳兵衛といふ名前は、先づ私達に非常に魔訶不可思議の妖しき人物を想像させます。この天竺徳兵衛が最初に歌舞伎に脚色されたのは寶暦七年七月の大阪大松座で『天竺徳兵衛聞書往來』といふのがはじまりです。

その後にいろいろの天徳氏の狂言が出て遂にそれらのものを打つて一丸として完成さしたのが文化元年七月、江戸河原崎座に初演された、四代目鶴屋南北、俗に大南北と稱されてゐる作者の『天竺徳兵衛韓噺』であります。[illegible]



尾上松助といふ人は、早變りや仕掛物の名人が、大南北といふこれが又奇想天外の趣向を得て、所謂大ケレンに天徳の早變りや仕掛けを演じたのだからさア江戸中は驚いてしまつた。

この大南北といふ作者は四谷怪談を作つた人だから御承知の通り奇々怪々の趣向を凝らす上に同時に亦大變な宣傳上手であつた。只今で申せばさしづめ松竹や東寶の宣傳部長の椅子におさまるべき人で、古い本を讀んでみると、この時松助の早變りや仕掛けが餘りにも巧なもので、もしや御法度の切支丹の妖術を役者が使ふんぢやないかといふ疑ひを掛けられて、幕府の役人の檢分を受けて再び許しを得て芝居を開けたといふが、これは或ひは大南北流の例の宣傳かもしれない。兎も角それ程の巧妙な早變りを見せて客の度膽を拔いたといふ事は取りも直さずヒヤリさせられたことである。



◇

夏狂言として、先づこの天徳の狂言などは立派な成功といはねばなるまい。

ただ歌舞伎では、その天徳をかまの妖術使ひだとして扱つてゐるが、これはどうやら例の傳奇的手法かおまけを加へて書いてあるのであつて、この天徳なるものは、先づ當時としてのハイカラ、つまりモダニスト所謂新知識の所有者である。

これはハツキリした事はいへないけれど、徳兵衛先生が初めて天竺なるものへ出發したのは寛永十年十月だとされてゐる。多少文才のあつた人物だから貿易商角倉與市の持船の船頭前橋清兵衛の書記役として同船したのであつた。

[illegible]に着いた、ここで種々[illegible]

[illegible]奇なるものを見た、歸りには和蘭人マヨウスの便船で長崎に歸つたが、[illegible]

その後二三度天竺へ渡つてゐるがその見聞を書いたものが『天竺聞書』といふ書物ださうだが、遺憾ながらこれは傳存してない。

◇

切支丹妖術を使つたわけではなかつたらうが、ただ[illegible]を渡來させて[illegible]して、その[illegible]を[illegible]つた下問[illegible]切支丹[illegible]が明治初年にさへ切支丹扱ひをされたのだから、當時の新知識の移入は、實に妖術といふ他にない代物だつたものだらう。

しかし、このこよなきスリルを盛つた天徳も夏狂言として最早や受け入れられぬ時代になつてしまつたのは殘念である。（つづく）

今週の映畫

日活映畫

美人賞

四日より大世界館上映

多摩川の杉、片岡コンビの流行歌入小品喜劇で水ケ江龍一第二回監督作品、脚本は小國英雄、香港の味原（杉狂二）と芳江（星玲子）は結婚の約束をしたので彼の就職運動が始まり[illegible]職口がないので味原は友[illegible]

[illegible]人の某化粧品會社の宣傳部長を訪れ彼の宣傳でこの會社へ入社したことにするが夫れが露れて一騒動

しかし味原の日頃の[illegible]つて無事就職、美人賞も[illegible]といふ物語、原作は[illegible]部の南[illegible]の作、他にジャック・ホルト主演のコロムビア映畫「肉彈總攻撃」山本禮三郎、橘公子主演の現代劇「お父さんの歌時計」（日活映畫）を併映する、尚四日午後十時より同館新企劃の催しとして第一回夜のニュース劇場を全館十錢で開催し、北支事變ニュース、パ社發聲ニュース、大日ニュース、コロムビア[illegible]約四十分間に亘り上映する由

秋の映畫界は

戰爭物パレード

——どうだね、映畫界の景氣は。この頃では、却々辛いだらう。

——うん、しかし、人間が戰爭と切迫の間に置かれれば、置かれる程、映畫なんてものと離れられなくなると思つてゐるのだ、戰争映畫といふのもあるしね。

——戰爭映畫は隨分澤山あるらしいな、どんなものが期待されてゐるんだ。

——フランスの『旅順港』が、日本人には問題になるだらう、サン・テクジベリイの有名な飛行小説を扱つた『南方飛行』も上陸戰爭があるし、獨逸では、ウフアの國策映畫『スパイ戰線を衝く』は大演習が取入れてある、ジャン・ルノワールの監督した『大きな幻想』といふのが來るが、これは戰爭を藝術作品として取扱つた傑作らしいよ。

——一體に歐洲ものが多いのだね、アメリカでは戰爭ものがないのかね。

——アメリカは歐洲ほどに、戰爭が身に泌込まないとは云へるね、それでも、スペインの内亂を仕組んだ『マドリットからの最後の列車』だとか、ワーナーではケイ・フランシスとエロール・フリンで沙漠の戰爭を扱つた映畫だとか、いろいろある様だな。

——それから、ルマルクの『西部戰線異狀なし』の續篇が來るんだらう。

——あれは『その後に來るもの』だ、戰爭が濟んで内亂時代になつた獨逸の物語なので、獨逸政府から横槍が入つたらしい。

——例の『大地』はどうだらう、もうメトロへ來てゐるのかい。

——あれは支那の農民を描いたものなので、外人社會の外人が[illegible]ゐるんぢやないかと思ふんだが、まだはつきりして居ないんだ。

★　★

——歐洲映畫では試寫を見たが『シュヴアリエの流行兒』と『南方飛行便』の兩方ともいいものだつた、アメリカものでは、ガルボの『椿姫』なんか落着いたものだらう、それからクーパーとラストの『海の魂』つてのはいいらしい。

——デイトリッヒとロバート・ドナットの『武器なき騎士』はジャック・フエーデの監督だから相當期待されよう。

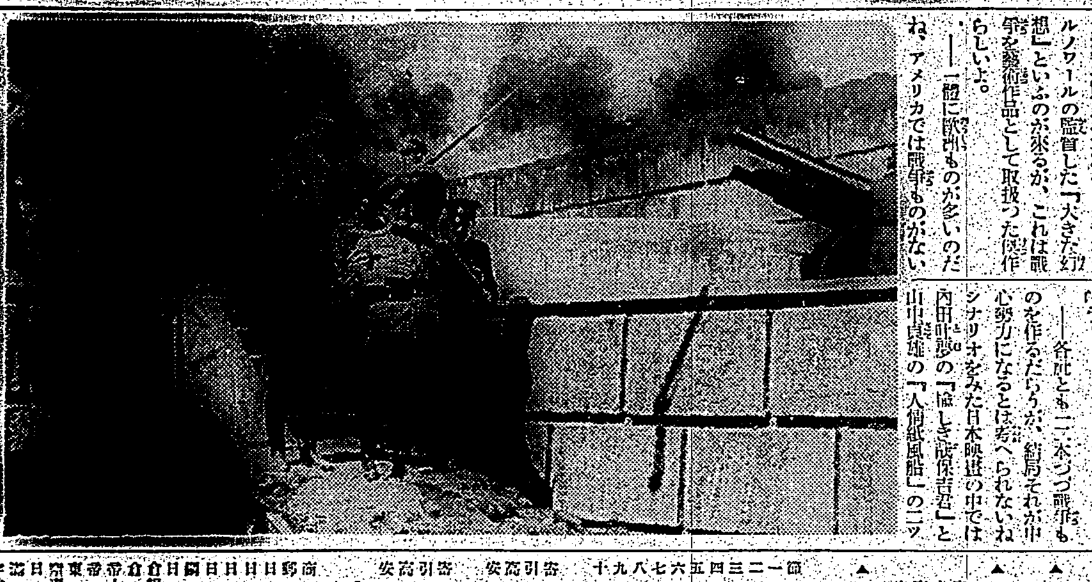
★　★

——ところで日本映畫はどうだらう。

——各社とも一二本づつ戰爭物を作るだらうが、結局それが中心勢力になるとは考へられないね、シナリオをみた日本映畫の中では内田吐夢の『愉しき哉保吉君』と山中貞雄の『人情紙風船』の二ツが今のところ、一番よくなりさうだ。吐夢は小津安二郎の原作を手に入れたし、山中は前進座を持つてゐるんだから、兩方とも鬼に金棒つて云へるな。

——前進座は益々いいね、日本の俳優の水準が皆んなあすこへ行つたら、日本映畫はもつと樂しくなるし、さうだ『保吉君』で小杉勇、風見章子の顔合せといふのも樂しめるね。

——『人情紙風船』は歌舞伎で、お馴染の髪結新三を扱つてゐるし『保吉君』は例の小市民ものと云へば、それまでだが、このくらゐの映畫は、外國ものファンにも見せたいと思ふ



【寫眞は獨トビス特作「旅順港」の一場面】

立信報國特別傳道　臺北市新起町西本願寺別院では四日夜、大山特派布教使本多周楽師[illegible]二十日[illegible]布教を行ひ更に二十[illegible]から二十六日までの秋季彼岸會中は同師により立信報國特別傳道が行はれる由

維摩會　臺北市内東門町西本願寺別院で[illegible]島田弘舟老師は[illegible]宗別院が[illegible]の永明寺住職に榮轉したので多年老師の薫陶を受けた維摩會では來る七日（火曜日）夜送別提唱並に送別茶話會を開催、會員及び一般多數の參會を希望（會費一円）

[illegible]

▲國語講座を設けられてから滿十月、始めて月例通りの放送に接して感謝に堪へぬ（九月二日朝推生）▲八月五日夜急行下り列車寢臺車一乘務員の御厚意を感謝致します（臺北驛長殿出札係N生）▲臺北で渡航受験生を指示する様な所があるますか（花蓮港SO生）▲北師第二回卒業の黑野進一、高橋正男、早川義道、本多武雄、向井鉄太郎君の現況につき御存じの方御一報下さい（末廣小、平井）▲東條所治原田吳服店、武田德晴さま、内地から小荷物がついてゐます（臺北驛小荷物係）

商況（四日）

正米市況前場

▲一期蓬萊米　朝場

	寄	中	引
	九、八三	九、九三	九、八一
	八二	九四	八二
	八三	九三	八三
	二四車	九一	一八車
		九二	
		二八車	

▲二期丸糯米　各限不申

▲一期蓬萊米　前場

	寄	中	先
止	九、七八	九、八五	九、七四
高	八〇	八五	七四
安	七六	八一	六九
	七七車	九三車	一〇車

▲二期丸糯米　各限不申

大阪期米前場

[illegible]

東京期米前場

[illegible]

神戸期米前場

[illegible]

大阪短期前場（十株位）

[illegible]

大阪長期前場

[illegible]

東京短期前場（十株位）

[illegible]

東京國債前場

[illegible]

東京銀行實株

[illegible]

紐育株式

[illegible]

神戸對外爲替

[illegible]

大連特產前場

[illegible]

外國金塊相場

[illegible]

外國銀塊相場

[illegible]

外國爲替相場

[illegible]

外國棉花相場

[illegible]

ナショナル生絲

[illegible]

シカゴ小麥

[illegible]

玖馬砂糖

[illegible]

紐育砂糖

[illegible]

倫砂數糖

[illegible]

大阪棉花前場

[illegible]

潮汐（五日）

	基隆	淡水
滿潮 前	[illegible]	[illegible]
滿潮 後	[illegible]	[illegible]
干潮 前	[illegible]	[illegible]
干潮 後	[illegible]	[illegible]

臺灣日日新報

本日夕刊共十二頁

編輯兼發行人 佐々木[illegible]

發行所 臺北市榮町四丁目卅貳番地 臺灣日日新報社

本紙一部六錢・一ヶ月前金壹圓五拾錢・三ヶ月同四圓貳拾錢・六ヶ月同金八圓・壹ヶ年同金拾五圓也（日本國內及支那送料不要）

廣告料 普通欄一行（十五字詰）壹圓 特別記事欄入一行 貳圓五拾錢

振替口座臺灣一〇 私書函臺北三番

電話 代表五八〇一・二・三 廣告用五八〇二

絶對に防腐劑を含まず

銘酒 **月桂冠**

酒界の巨砲

納入代理 臺北 西村商會

講談倶樂部

血涙断腸 **嗚呼通州城**

國史の存する限り永久に忘れ[illegible]

おゝ七月二十八日、悲慘又悲慘、慘絶極まる支那保安隊の叛亂に國族を抱いて雄々しく散つた大和撫子一輪、涙か、血か、恨みは長し、あゝ通州城！！

☆涙の感激 **召集令** 安[illegible]季雄

全篇悉く感激の渦、[illegible]しき保險外交員が赤紙の召集令状を受けてそこに[illegible]き起る涙の愛國譜

嫁取綺譚 **本多三彌**

社會悲劇 **貞操の證**（竹田敏彦）

探偵實話 **赤門御殿の怪主**

新連載 **海棠の歌**

危い哉！暴風雨の一夜

金の力で綾子の處女を屈服させようとする四十男太田黒の獣的な慾望と、五千圓の金に目が眩んで可憐な綾子を泥田の中に突き落さうとする女將の奸策、綾子は[illegible]の別莊で暴風雨の夜、恐るべき危機に直面した。

竹田[illegible]

●皇軍活躍感激大畫報

●戰線便り

●出世兄弟有名夫婦畫報

落語 貧問 柳家金語樓

林家染丸

青春 愛雛

哀艶悽絶 **源平**[illegible]

映畫レビュー 噂の噂

面白いぐ各社の映畫レビュー名スターの最近の噂ばなし、寫眞入りの豪華版

現代小説 **火の柱** 中村武羅夫

情艶悲戀 長田幹彦

果敢なきはうたかたにも似た淋しき戀よ！艶やかな祇園先斗町の灯の蔭におりなされた哀艶[illegible]の一大ロマンス・花の[illegible]

段違ひ奥樣 佐々木邦 細木原青起

解決篇 探偵小説 花房[illegible]

▲世渡り漫畫訓

▲戀の日曜日

▲須田さんとその家族 麻生豐

第二の新[illegible]

あゝ令[illegible]

時局と高砂族と其將來性

指導上の重大性は愈々增す

一

臺灣にかける高砂族の總人口は現在約十五万人で、其の內山地に居住する者約九万人、殘り六万人は平地又は平地に近く居住するものである。この平地方面居住者は比較的に文化も進み內地人との接觸の機會も多いので、今回の支那事變に對する時局の認識も間違ひなく正確を得て居るものと思はれるが、警察官等の外接觸の機會乏しき山地の高砂族に對しては、この時局が果して如何に反映して居るか、いまこれを檢討して見る事も決して無用の業ではあるまい。勿論領臺の初年以來、一般の蕃情極めて平穩で一意專ら官命を遵奉しそれ〴〵生業に從事して居り、現に去る七月初旬蘆溝橋事件勃發以來も內山にかて蕃山の空氣に些の動きもない。

二

然し昭和七年一月上海事變の起つた際には一部不心得者の間には流言蜚語に迷はされ、有るべからざることを想像した者も多少はあつた樣であるが、今回は事變發生直後より各地所在の駐在警察官を通じて時局の推移と經過の要領を噛んで含めて隨時知らしめる方法を執つて來た。現在全島にかける山地駐在所の總數五百卅ケ所で新聞紙は全部配布されてゐるがラヂオは極少數しか備付けてないので、各州と廳より臨時ニュースや情報委員會等の發表の主要な點を纏めて駐在所に送り、警察官は各蕃社の頭目及び青年團員の主なるものを集めてそれを言うて聞かせる仕組を實行して居る。更に八月中旬臺灣軍司令部にかて全島理蕃關係會議を開催した時に一層右の仕組其の他を强化することを申合せ、益々實行して居る。現下蕃地の青年團員は男子の分が二百十五團八千六百九十六人、女子の分が七十七團二千七十二人の孰れも團員を有して居るが、これら蕃社のインテリである中堅である青年團員は殊に多大の關心と興味とを以て事變の經過を聽取して居るといふ。殊に事變勃發後旣に二ケ月も經過して居るので時局に對する山の高砂族の感想なるものも、全島から當府理蕃課にその聽取書が續々寄られて居るが、今この代表的なものを拔くれば左の通りである。

三

新竹州の一タイヤル曰く『日本の軍隊は强い、天皇陛下の御稜威と軍隊の勇猛に依るものだ、若し許されるものならタイヤルも戰線に立たしてほしいもの、それが出來ない以上は、戰地に在る軍人と郷里に殘つて居る家族に對し獻金や慰問金を贈呈することは私達の為し得るせめてもの務めである』又高雄州下の一ブヌン曰く『ブヌンは子供の時から射撃が上手で猿でも猪でも山羊でも存分に取れるから戰場に行つて精一杯に鐵砲を打たして貰ひたい』同州下の一パイワン曰く『日本軍は强い上に正義を以て進むから必ず勝つに決まつて居る、支那兵は武器や彈藥は澤山でも精神力が無いから負ける、現に我等の祖先にも負けて逃げて了つたではないか』。臺東廳下の一パイワン曰く『現今愉快に生活して居るのは皆日本人の御蔭だ、亡父の話を聞くと自分達が山に住むやうになつたのも支那の為めだといふ。今でも自分達は〇〇は一切信用しない』別の一ブヌン曰く『自分達の先祖は支那人の為めサン〴〵虐殺されて、今度はウンと復讐をして貰ひたい、若し食糧が不足したらいくらでも粟を贈呈するから遠慮なくいうてほしい』等々。

四

その言ふ所は他愛ない事ではあるが、要するに山の高砂族も亦時局の認識にかて多少見るべきものがあり、單純と天眞爛漫の性情を流露する間に日本國民の一部として恥かしからぬ愛國心の抱懷を見ることは誠に心强い。其の他の感想にも出來るなら戰線に出してくれといふ念願は殆んど異口同音である。又前述の一タイヤルの言ふ如く國防獻金や慰問金に就ても警察當局としては積極的に刺戟するが如き態度は些しも取つて居ないに拘はらず、或は農産物賣上金の幾分を削き、或は勞銀などの一部を提供したりして、全く自然の同情に基いて醵出した總額が八月末日現在にかて旣に二千餘円に達して居る。彼等の感想といひ、行動といひ、全く我が國民精神を發揮して居る事實の表現と看做すべきもので、理蕃當局の苦心と努力とが立派に報いられて居るものと言へやう。同時に日本國民として此の高砂族の將來性に就ても顧慮すべきものがある。卽ち、是等の個性及び性情を持つ高砂族に對する今後の指導誘掖を如何にすべきかであり、時節柄、今後にも殘る問題として檢討すべきである。

御異例ご拜察さる

特に御明鑑を垂れさせ給ふ

臨時議會開院式勅語

【東京四日發同盟】第七十二臨時議會開院式に賜りたる勅語は左の如くであるが畏くも天皇陛下には時局を深く御軫念遊ばされ今回の勅語は特に御明鑑を垂れさせ給うたもので御異例と拜察され畏き極みである

勅語

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク

帝國ト中華民國トノ提携協力ニ依リ東亞ノ安定ヲ確保シ以テ共榮ノ實ヲ擧クルハ是レ朕カ夙夜軫念措カサル所ナリ中華民國深ク帝國ノ眞意ヲ解セス濫リニ事ヲ構ヘ遂ニ今次ノ事變ヲ見ルニ到ル朕之ヲ憾トス今ヤ朕カ軍人ハ百艱ヲ排シ其ノ忠勇ヲ效シツツアリ是レ一ニ中華民國ノ反省ヲ促シ速カニ東亞ノ平和ヲ確立セムトスルニ外ナラス

朕ハ帝國臣民カ今日ノ時局ニ鑑ミ忠誠公ニ奉シ和協心ヲ一ニシ賛襄以テ所期ノ目的ヲ達成セムコトヲ望ム

朕ハ國務大臣ニ命シテ特ニ時局ニ關シ緊急ナル追加豫算案及法律案ヲ帝國議會ニ提出セシム卿等克ク朕カ意ヲ體シ和衷協贊ノ任ヲ竭サムコトヲ努メヨ

時局の重大性に鑑み奉公の誠を效せ

聖旨を奉體し 陸相全軍に訓示

【東京四日發同盟】四日の開院式にかいて賜はりたる優渥なる勅語を奉體し國民に懇諭せる杉山陸相は四日陸軍部內全般に對し聖旨を奉體し國民の赤誠に酬へるやう鞏固たる訓示を發した、その要旨左の如し

一、帝國を繞る現下の國際情勢は益々混沌として一路惡化の傾向を辿りその秋に當り突如事變の勃發を見たり、然も事態は愈々擴大し過去數次に亘り帝國が經驗したる事變とは全くその趣きを異にし旣に全面戰へ移行したるものなることを深く覺悟するを要す

二、事態旣に今一月に至りては皇軍活動の成果に存す、宜しく解決の徹底と迅速とを圖り、苟も第三國をして乘ずる隙なからしむるを要す

三、聖戰旣に旬日、酷暑の下、炎暑を冒し疲勞に耐へて軍に從ふ將兵の勞や誠に感謝に堪へざるものあると共に、戰地に於ける尊き犧牲者に對しては哀惜誠に禁ずる能はざるものあり

四、全軍の將兵、相携へて克く聖旨を奉體し、深く時局の重大性を銘肝して一意奉公の誠を效し上は聖慮を休んじ奉ると共に下は國民の附託に應へ併せて銃後の赤誠に酬ゆるの覺悟あることを要す

全海軍將士に聖旨を傳達

きのふ米內海相が

【東京四日發同盟】本日の開院式にかいて優渥なる勅語を賜つた米內海相は直ちに全海軍將士に聖旨を傳達すると同時に午後二時半省內大臣室に山本次官以下各部局長を招致し

現下の事態に處する帝國海軍の重大なる責務を自覺し益々盡忠報國の念を固め粉骨碎身以て聖旨に副ひ奉る

の覺悟を訓示する所があつた

感激の至り

近衛首相の謹話

【東京四日發同盟】近衛首相謹話 本日の開院式に當り時局に鑑み特に優渥なる勅語を拜したことは眞に感激の至りに堪へず、今次事變に對する御軫念の程を拜察しまして誠に恐懼致してゐる次第であります、我々臣民は戰場に立つも立たぬも皆その職分に恪循して勅語に仰出されました如く『忠誠公ニ奉シ和協心ヲ一ニシテ』益々勤勞努力し宸襟を安んじ奉らねばならぬと思ひます

衆議院

【東京四日發同盟】四日の衆議院本會議は午前十一時四十八分開會小山議長、議長席に起立し開院式に賜はりたる勅語奉答文の議事に入るべき旨を宣し起草委員を指名し同五十分一旦休憩、午後零時五十三分再開、勅語奉答文の議事を開け起草委員長山本悌二郎氏登壇起草委員會で起草したる勅語奉答文案を朗讀すれば滿場拍手をもつてこれを迎へ全院一致可決依つて議長は宮中の御都合を伺つた上參內右奉答文を奉呈致すべき旨を述べ同五十七分再び休憩

【東京四日發同盟】四日の衆議院本會議は午後一時四十九分三度び開會、選擧の結果匹田鋭吉氏(政友)全院委員長に當選、常任委員長は本會議散會後夫々各委員會にかいて互選する事とし同五十四分散會

ニ中華民國ハ帝國ノ眞意ヲ解セス濫リニ事ヲ構ヘ遂ニ今次ノ事變ヲ起スニ至レリ

陛下深ク軫念アラセラレ臣民カ忠誠公ニ奉シ和協心ヲ一ニシテ事ニ從ヒ以テ中華民國ノ反省ヲ促シ速カニ東亞ノ平和ヲ確立セムコトヲ示サセ給フ

聖慮ノ深遠ナル洵ニ感激ニ勝ヘス

臣等謹テ

叡旨ヲ奉體シ愼重審議協贊ノ任ヲ竭シ以テ

皇猷ヲ贊襄セムコトヲ期ス臣等誠恐誠惶ノ至ニ任ヘス謹テ奉答ス

至ニ勝ヘス、顧フニ帝國カ東洋平和確立ニ邁往シ中華民國ト互ニ提携シテ共ニ其任ニ當ラントスルコト久シ然ルニ民國ハ帝國ノ誠意ヲ無視シ頻リニ事端ヲ滋クシ遂ニ今次ノ事變ヲ起スニ至ル、聖慮ノ洪大ナル尙且ツ彼カ反省ヲ促シ東亞安定ノ速カナラムコトヲ望マセラレ國民ノ翼フ所ヲ宣揚ス、是偏ニ陛下ノ御稜威ニ頼ラスンハアラス、國民ハ擧ツテ堅忍持久以テ終局ノ目的ヲ達セサルヘカラス、臣等恐懼措ク所ヲ知ラス臣等謹テ聖旨ニ應ヘ奉リ下國民ノ委託ニ酬ムコトヲ期ス、衆議院議長臣小山松壽誠恐誠惶謹テ奏ス

院內臨時閣議

追加豫算案正式決定

【東京四日發同盟】政府は四日の開院式に先立ち午前十時二十分より院內に臨時閣議を開き、支那事變關係の追加豫算案を正式に決定し衆議院に提出の手續を執ることとし直ちに散會した

衆議院質問陣

先陣は民政の櫻內氏

【東京四日發同盟】小泉民政、松野政友兩黨幹事長は四日午後一時院內で會見、五日の本會議にかける國務大臣の演說に對する質疑に關し懇談した結果時局重大の折柄ではあるが質疑は質疑として行ふべきであるといふに意見一致した依つて各派一名宛代表を出して質疑せしめることになつたが第一陣は民政黨の櫻內幸雄氏とし次で政友會の大口喜六氏、第一議員俱樂部秋田淸氏、社會大衆黨片山哲氏、東方會中野正剛氏、第二控室松尾孝氏の順序で登壇する豫定である

貴族院

【東京四日發同盟】貴族院本會議は四日午後二時四十分開會直ちに開院式にかいて賜りたる勅語に對する奉答文起草の議事に入り松平議長より別項の如き勅語奉答文案を朗讀して議場に諮れば滿場一致これを可決、次で德川圀順公(火曜)が全院委員長に當選、常任委員の選擧は各部で行ふ事となり四時七分一旦休憩、午後四時四十五分再開直ちに各部にかいて選擧せる常任委員の氏名を書記官より報告しこれにて日程全部を終了四時五十分散會

勅語奉答文

【東京四日發同盟】貴族院の勅語奉答文は左の如し

貴族院議長臣公爵德川家達誠恐誠惶謹テ

叡聖文武天皇陛下ニ上奏ス

茲ニ第七十二回帝國議會開院ノ盛典ヲ行ハセラレ優渥ナル勅語ヲ賜フ恭ク惟ルニ帝國ノ意圖ハ隣邦ト提携シテ東亞ノ安定ヲ確保シ共榮ノ實ヲ擧クルニ在リ然ル

衆議院奉答文

【東京四日發同盟】衆議院勅語奉答文左の如し

叡聖文武天皇陛下ニ茲ニ第七十二回帝國議會ヲ召集シ

車駕親臨ノ盛典ヲ擧ケサセラレ

優渥ナル勅語ヲ賜フ臣等

委員長、理事決定

【東京四日發同盟】衆議院の各常任委員長、理事は互選の結果左の如く決定した

豫算委員長 勝正憲(民政)

理事 木村二四郎、內藤正剛、西方利馬、沖島鎌三、佐藤洋之助、森篤、三輪壽壯

決算委員長 菊池良一(民政)

理事 福田關次郎、佐藤興一、石坂養平、服部岩吉、春名成章、川俣清音

請願委員長 菅野善右エ門(政友)

理事 坂東幸太郎、片岡恒一、宮本雄一郎、高橋円三郎、鈴木正吾、菊地養之輔

懲罰委員長 岡本實太郎(民政)

理事 中村梅吉、本田義成、行坂築

建議委員長 田中亮一(政友)

理事 木村淺七、田村秀吉、田中耕、川崎已之太郎、赤城宗德、前川正一

けふの兩院

【東京四日發同盟】五日の兩院

貴族院 午前十時本會議を開き近衛首相、廣田外相の施政方針並びに外交方針に關する演說杉山陸相、米內海相の支那事變其後の經過を報告あり次で軍需工業動員法の適用に關する法律案外一案を委員附託とし終つて陸海軍將兵に對する感謝決議案を上程可決して散會

衆議院 午後一時本會議を開き近衛首相、廣田外相、賀屋藏相の演說に次で杉山陸相、米內海相の支那事變經過報告あり小山議長の發議にて支那事變出征將兵に對する感謝決議を滿場一致可決した後支那事變に關する臨時軍事費支辨の為め公債發行に關する法律案外八件を上程國務大臣の演說に對する質疑及び上程法律案に對する質疑を行ひ政府提出法案を委員附託として散會

聖旨奉體決議案

けふ衆議院に提出

(東京四日發同盟) 四日の衆議院各派交渉會は聖旨奉體決議案を提出して衆議院の決意を表示する事を決定した

廈門の猛攻擊に海、空軍も參加

敵砲臺は大半破壞

肥後海軍武官の談

我が精銳なる海軍は南支にかける廣東軍閥の不遜暴戾なる跳梁を前に隱忍自重をかさねて來たが一昨二日突如砲門を開き敵の蟠居せる廈門島に一大攻擊を加へたが右の廈門砲擊の目的並に戰況につき肥後海軍武官は語る

暴戾飽く事を知らぬ廣東軍閥は自己隷下の百五十七師の一部を去る廿一日より廈門に侵入せしめ廈門大學、病院、兵營等を占據し更に海軍司令部に本據を置き跳梁を恣まにして居たが、遂に此の悲害なる廣東軍閥の本據廣東に大爆擊を加へた我が海軍は更に今回軍艦〇〇及〇〇驅逐隊を以て三日午前八時より午後二時に亙り海空雙方より廈門を攻擊し、白石、嶼山、大砲角等の諸砲臺に多大の損害を與へ廈門にかける敵砲臺の大半を破壞せしめると同時に敵の蟠居せる海軍司令部、廈門飛行場格納庫に爆擊を加へ之を潰滅せしめた、軍今回の廈門攻擊の大要は大體右の如くであるが此等の目的とする所は云ふ迄もなく多數の民衆に迫害を加へ且ソ支密約により四百餘州をソ聯に賣らんとする惡逆無道なる支那軍閥を打倒せんとするに在り無辜の民衆を傷つけんとするものでは斷じてない

ソ聯が露骨に支那を援助

外蒙經由、軍需品供給

【東京四日發同盟】四日到着せる確實なる情報に依れば現在までに上海の支那戰線へ到着したソ聯軍用飛行機は總數二十九台に達しこれに必要なるソ聯人操縱士も多數入り込んで空中戰に參加して居り現にソ聯極東軍所屬飛行中尉は去る十八日の日本空軍との空中戰闘にかいて負傷しカントリー・ホスピタルに入院したが後遂に死亡した然して目下外蒙經由上海方面に輸送中のソ聯飛行機並に武器は飛行機二百五十、大砲百門、高射砲百五十であるが、ソ聯は今後支那軍が徐州河以西へ退却する時期に入れば更に多數の飛行機並に軍需品を供給する豫定であると言はれ、ソ聯の對支軍事援助は愈々露骨となりつつある

極東軍司令官

ハバロフスクに歸着

【東京四日發同盟】ソ聯極東軍司令官ブリュッヘル元帥の行動は各方面から注目されてゐたが四日到達せる確實なる情報に依れば同將軍は最近外蒙からハバロフスクに歸着してゐることが判明した

福州は抗日一色

支那兵の傍若無人は

良民怨嗟の的となる

(香港四日發同盟) 福州の形勢は最近極度に惡化し市中各戶の壁には到る處長期抵抗の文字が大書され抗日宣傳一色に塗り潰されてゐる、男子は必らず兵隊に强制徵集され男子なき家からは一戶宛三十弗を强奪する有樣で支那兵の橫暴は極度に達してゐる又南門方面の軍隊も民衆から金錢を捲上げると云ふ强盜に均しい所為に出でつつあり、支那人は香港に續々避難し來り何れも政府の遣り口に怨嗟の聲を發してゐる、尙彼等の談に據ると去る三十一日廈門より香港に向ふ英國汽船に乘移らんとする支那避難民中に一日本人があり支那兵に發見され見るも慘酷な手段で虐殺されたと

蔣介石のSOSに

北上軍が南下

中央軍上海に集結

【上海四日發同盟】羅店鎭、月浦鎭、獅子林砲台を占領したわが〇〇部隊及び吳淞鎭、吳淞鎭砲台を占領した〇〇部隊は寶山縣附近にかいて連絡、上海租界守備の海軍陸戰隊とも相呼應し包圍の態勢を以て漸次敵兵を壓迫しつつあるが蔣介石は國民政府及び自己の運命の定まる上海方面の戰爭を賭る重大視し北支方面に差向けありし中央軍を呼び返し續々とこの方面に集結中で敵兵力は逐次增加の傾向にある

敵軍が抵抗

【上海四日發同盟】寶山縣城內方面三キロの金家宅附近には敵の有力部隊が殘留しクリークを利用し寶山縣城方面の敵と相呼應し堅固な陣地を構築し我軍の進出を阻止しつつあるので、我軍は〇〇隊を以てこれを砲擊、午後六時目下激戰中である

寶山縣城包圍

【上海四日發同盟】淺間部隊は獅子林砲台を占領後昨二日夕刻には顧家宅を占領、吳淞鎭方面より進出の堅家部隊との距離を僅かに二キロに縮め寶山縣包圍の態勢を進めてゐる

投降を勸告

【上海四日發同盟】吳淞鎭及び吳淞砲台占領後の藤田部隊は破竹の勢で昨三日寶山縣城外約六百メートルの朱家宅に殺到したが寶山縣城內には尙非戰鬪員若干が殘留しこれに敗殘兵が混入してゐることが判明したので我軍はこれ等非戰鬪員の安全を期する為め引揚き投降勸告のビラを撒布目下投降勸告中である

敵陣を爆擊

【上海四日發同盟】四日午後二時五十分わが空軍〇機は北四川路前方の敵第一線陣地に爆彈數箇を投下敵陣の一部を粉碎した

敵陣に大動搖

【上海四日發同盟】第〇艦隊報道班午前九時發表 海軍航空隊は浦東及び閘北方面の敵に對し二日午後に引續き四日早朝まで徹底的に爆擊を實施し浦東の金家橋附近及び閘北北停車場附近の敵は大動搖を生じつつある

唐官屯を占據

頑强に抵抗する敵を制壓し

我が軍津浦線進擊

【天津四日發同盟特派員發】四日 [illegible]

二萬の敵兵總崩れとなる

【唐官屯四日同盟特派員發】 [illegible]

夜の明けるのを待つてゐた [illegible] 隊は兩側の堀田、岡兩部隊と協力しヂリ〴〵敵の賴む幅四メートル五〇高さ二メートルの水濠に迫り我が〇〇陣地よりの砲擊終了を待つて喊声と共に敵の水濠に突入した正に鬼神も避くる勇敢さである我が將兵は唯一つの梯子を水濠に渡しかけ、戰友の屍を乘越えて遮二無二突入したこの猛突に敵兵二万も總崩れとなり堅壘を誇る陣地を拋棄潰走し雪崩れの如く後方の馬廠方面に退却、午後四時唐官屯は完全に赤柴部隊の手中に收められるに至つた

二萬の大軍を猛然と攻擊

【唐官屯四日同盟特派員發】わが赤柴部隊は四日午前六時三十分を期し先づ〇〇部隊の火蓋を皮切りに第二十九軍が最も頼みとする陣地唐官屯の堅壘に在る四箇旅二万の大軍に對し猛然攻擊を開始したこの日夜來の雨は漸く降り止んだ

南方に潰走

【天津四日發同盟】唐官屯は敵兵の多數集結する馬廠の重要防禦陣地にして唐官屯の陷落は敵に多大の衝擊を與へてゐる一方唐官屯西方東子牙鎭に在つた敵も南方に潰走しつつあり、捕虜の言に據れば馬廠には第二十九軍の第三十七、三十八の兩師が存在せる事判明した

長谷川部隊平綏線進擊

【張家口四日發同盟】平綏線に沿ひ進擊中であつた長谷川部隊は一日懷安鎭及び永嘉堡の堅壘に據つて頑强に抵抗する敵を擊退完全に占領した、同方面秋色深く冷氣肌にしみるも士氣益々旺盛である

治安維持會懷來に成立

【天津四日發同盟】懷來には三日治安維持會が成立した

極東問題は飽く迄獨自

ハル長官言明

【ワシントン三日發同盟】ビンガム大使の歸米を機として極東問題につき英、米兩國の具體的方法が確立したとの報道が一部新聞で行はれてゐるが、ハル米國務長官は三日新聞記者團との定例會見にかいて重ねて米國政府の自主的立場を闡明し左の如く述べた

米國政府は極東問題に關して如何なる國とも共同動作を執らず如何なる場合にも獨自且つ別個の政策を遂行する方針である、米國政府は飽くまで行動の自由を保留し紛糾に捲込まれぬ事を期する心算である、ビンガム大使の歸國につき取沙汰あるも極東問題とは關係はない

國府はソ聯に支配されやう

支那は第二の西班牙

【ベルリン三日發本社特電】ナチス黨外交部長ローゼンベルク氏の片腕と呼ばれる黨機關紙フエルキッシュ・ベオバハター紙外報部長兼ナチス黨外交大學學長ワルター・シュミット氏は三日の同紙に『極東の戰爭』と題し左の如く論じてゐる

一、今回日本の支那進出の政治的乃至戰略的目標はソ聯に對する日本帝國の地位の確保、延いては滿洲國の大陸的地位の確保であると謂はれる、右目標は又島國日本を海洋にかて防衞する必要を生むは言を俟たぬ

一、然し支那は日本が右目的遂行に當りたては少くとも前記目標に反對してゐる、今日の支那の最大悲劇は南京中央政府が永年の國內的混沌狀態を整理するだけの能力なく又便衣隊並に叛亂將領に對し權威を確立し得るだけの時間的餘裕に惠まれぬ上更に支那辺疆地帶に於て日ソ兩國の對立が旣に激化した點にある

一、日本の發展進出の要求が愈々猛烈となるに從つて他方蒙古地方にかけるソ聯の勢力は日每に擴大して行つた、蔣介石は斯かる政略に立つて一方を防止する必要上寧ろソ聯と結盟したがソ聯の從來の行き方より察するに不斷心より露骨的指示へ更に支那の監視保護へと漸進する結果だらう、外蒙人民共和國首都ウランバートルにあるソ聯指揮將軍が支那中央政府の玉座に坐り左右を睥睨する日も決して遠くはあるまい、斯くて支那の獨立が消滅するは火を睹るより瞭かである、今や支那は第二のスペインと化した、ソ聯は上海其他支那海岸にかてスペインよりも大規模な國際紛糾を起すべく待構へてゐる

軍司令部發表

【天津四日發同盟】天津軍司令部午後二時發表

一、津浦線唐官屯、馬廠附近の敵陣地に對しわが〇〇部隊は數日來靜海、王口鎭附近の敵を擊破し逐次緊迫中なりしが今朝該陣地に對し攻擊を開始せり

一、戰場一帶雲低く垂れ昨日來の降雨尙歇まずわが飛行隊は低空飛行し唐官屯附近の敵陣地を爆擊せり

李濟琛が北上

【香港二日發同盟】中央軍の要職に就任に內定してゐる廣西派の巨頭李濟琛は蔣介石の招電に接し兩三日中に廣東經由北上する事に決定した、又陳銘樞、蔣光鼐も旣に二日廣東に到着李濟琛と同道北上する事となつた、尙廣西軍增援隊も粵漢線で近く北上する豫定である

于學忠部隊膠東を防備

【青島二日發同盟】元東北軍于學忠の部隊は高密、膠東附近に集結し韓軍と協力して膠東の防務を擔當することとなつた

東株で新會社創立

【東京四日發同盟】東株では四日緊急總會を開き最近の株價暴落の對策として總額資本金二千万円(第一回拂込八百万円)の投資會社を創立しその拂込金を以て暴落した各種株式六、七十万株を買入れ以て市場の安定を圖ることに決定、來る七日右投資會社の創立總會を開催することとなつた

人事

▲後藤曠二氏(臺北理事) 五日水裡坑より歸北

▲遠山景一氏(臺中州技手) 來北中の所四日歸中

▲林世宗氏(臺灣新聞販賣會社專務理事) 內地出張中のところ三日の便船で歸北

法人登記公告

●財團法人愛國婦人事業後援會(變更) 理事熊井才吉ハ昭和拾貳年八月貳拾五日退任ス同日臺北市幸町百參拾五番地池田斌ハ理事ニ就任ス

●財團法人私立臺灣國高等技藝女學校(變更) 理事熊井才吉ハ昭和拾貳年八月貳拾五日退任ス同日臺北市幸町百參拾五番地池田斌ハ理事ニ就任ス

右昭和拾貳年九月貳日登記

右昭和拾貳年九月參日登記

臺北地方法院

商業登記公告

●株式會社三和銀行變更(支店) 昭和拾貳年八月貳拾參日兵庫縣武庫郡精道村 [illegible] 新田七百六拾番地ノ參岡野清豪ハ會社ヲ代表スヘキ取締役ニ就任ス

●三和商事株式會社(追加) 增加資本ノ總額金五萬圓資本增加決議ノ年月日昭和拾貳年八月 [illegible] 日各新株拂込金額金五拾圓

●和隆木材株式會社支店設置(支店) 昭和拾貳年八月貳拾 [illegible] 日支店ヲ臺北市末廣町五丁目七番地ニ設置シタルニ因リ左ノ登記ヲ為ス 一、商號和隆木材株式會社 一、本店基隆市福德町參丁目拾五番地 一、支店臺北市末廣町五丁目七番地、高雄市入船町壹丁目 [illegible] 番地 一、目的一、木材ノ仕入販賣並ニ山林ノ伐採二、一般建築材料ノ仕入販賣 [illegible] 四、前記各項ニ附帶スル事業 一、設立ノ年月日昭和拾壹年九月 [illegible] 日 一、資本ノ總額金 [illegible] 一、各株ノ金額金五拾圓 一、各株ニ付拂込ミタル株金額金 [illegible] 一、公告方法本店所轄登記所カ公告スル新聞紙ノ內其壹ニ揭載ス 一、取締役ノ氏名住所 [illegible] 一、會社ヲ代表スヘキ取締役ノ氏名 [illegible] 一、存立ノ時期設立登記ノ日ヨリ滿 [illegible] 參拾個年

右昭和拾貳年九月貳日登記

●株式會社(設立) 商號株式會社臺南製紙所本店臺北市樺山町拾八番地目的一、紙、紙料ノ製造二、前記製品ノ販賣並其目的ニ關聯スル事業ニ出資スル事三、右ニ附帶スル一切ノ業務設立年月日昭和拾貳年八月貳拾日資本總額金拾萬圓壹株ノ金額金五拾圓各株拂込金額金拾貳圓五拾錢公告方法本店所在地ニ於ケル [illegible] 取締役ノ氏名住所 [illegible] 代表スヘキ取締役ノ氏名 [illegible] 存立ノ時期設立登記ノ日ヨリ滿參拾個年

●株式會社金隆發精米商行(追加) 昭和拾貳年八月拾七日增資拂込ヲ了ス 右昭和拾貳年九月參日登記

●臺灣米穀代行株式會社(變更) 監査役劉阿坤ハ昭和拾貳年八月參拾壹日辭任ス 右昭和拾貳年九月四日登記

臺北地方法院

●花蓮港興業株式會社(變更) 取締役金井貫一ハ昭和拾貳年八月參拾壹日辭任ス 右昭和拾貳年八月貳拾六日登記

臺北地方法院花蓮港支部

產業組合登記公告

●保證責任高砂產業信用購買利用組合(變更) 理事志政吉太郎ハ昭和拾貳年八月貳拾六日死亡ス 右昭和拾貳年九月四日登記

臺北地方法院

●有限責任鳳林信用組合(變更) 理事岐永昌明夜忠五郎張七郎徐秀春ハ昭和拾貳年七月四日辭任ス 右昭和拾貳年八月參拾壹日登記

臺北地方法院花蓮港支部

秋のセル賣出し

初秋向 小倉お召 新柄陳列

三階にて

配彩に、柄行に、地風に、新技巧を凝らした本秋の新製品取揃へ

新學期用品賣出し

一男女通學用手提鞄とランドセル

一新型ブックエンドとインクスタンド

一特撰ノート類

一品質證明付 菊元鉛筆

特撰 組合文具

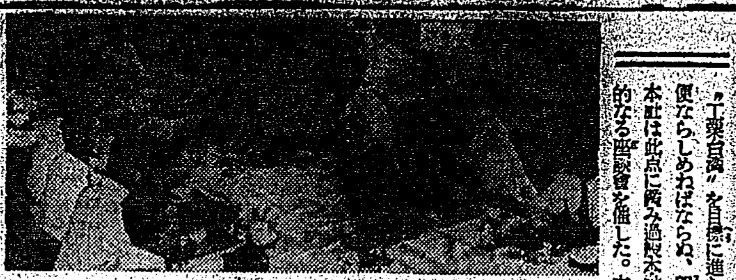
特撰 便箋封筒類 (六階)

榮町 菊元

臺灣に於ける勞力と勞銀問題
本社主催座談會に聽く

"工業臺灣"を目標に進むためには、勢ひ勞働力や勞賃の問題を十分研究し、工業發展に便ならしめねばならぬ、即ち茲に"勞務"に關する眞劍なる檢討を必要とする次第である

本社は此点に鑑み過般本社主催の下に此方面に關係深き專門家の來集を求め、極めて効果的なる座談會を催した。本稿はその當時の速記である。



一

◇河村本社長　それでは座談會を開きたいと思ひます、公務御多忙の所を御出席頂きまして洵に有難うございます、先般御通知を差上げました樣に、臺灣も愈々工業臺灣と云ふ問題が非常に重大視されまして、工業發展とかならうと云ふ時代になりました、此根本になりますものは勞力であります、就きましては斯う云ふ方面のお話を承りまして工業方面に色々御便を計りたい、斯う云ふ見地からして此催をした次第であります、それでは別に順序もありませんが、先づ藤江さんからお話を願ひます

◇藤江氏　私は大倉土木會社に居ります藤江であります、臺灣土木建築協會を代表して……といふ訳ではなく唯主催者から御指名を受けましたので、私共の關係して居ります所の經驗を申上げて見たいと思ふのであります、昨年の春以來農村の好況と云ふことに支配されまして勞力は著しく拂底致して居ります、殊に從來南國公司の手に依つて對岸から移入されて居ります所の勞力と云ふものは昨年の五月に至りまして總督府からその後の七ケ月間即ち五月から十二月までの間にかて二千人以上入れては不可ぬと云ふお達があつたさうであります、從來の例から見ますると年々七八千人から一万五千人程度に入つて來たのであります、一昨年即ち昭和十年は一万五千人入つて居つたのでありますが、所が昨年の正月から五月までの間に既に一万人と云ふ數が入つたのであります、所がその後二千人と云ふことに制限されました為に一万二千人で終つたのでありますが過去五ケ年間の累進率から見ますれば當然二万人近いものが……自由に許されたならば入つたものと思ひます、昭和七年からの統計に依りますと昭和七年には七千百二十九人、八年には八千六百二十三人、九年には一万三千五百三十八人、十年には一万五千三十四人、十一年には一万二千六十六人とずつと其數を增しておつたのであります、所が唯今申上げました樣に島內と致しては農村の景氣が可い、さうして臺灣の勞働者と云ふものは元來が百姓の片手間と申しますものが多く苦力の大部分は百姓であります、此百姓が景氣が良い為に外の仕事に出稼ぎをすることを嫌がると云ふ樣な傾向を生じたのであります、さうした關係に加へ一面對岸勞働者が制限をされたと云ふことは非常に島內の供給に支障があつたと思はれるのであります、吾々業者としては孰れも勞力の不足を感じたのでありますが、特に私は茲に例を引いて申しますれば私の會社でやつて居ります日月潭の第二期發電工事であります、それは昨年の六月に水害を受け、その為に一時工事が休みとなり、勞働者は郷里に歸つたと云ふ樣な關係に次いで農繁期にブッつかりましたので賃金の値上げ奬勵法其他凡ゆる方法を以て募集しましたが必要な人員が纔らず非常に苦心を致しましたが之は場所柄の關係もありましたが結局勞力の不足に起因したのであります、此春の旧正月以來は幾分其點緩和され月々千六、七百人の出稼人員を見ることが出來ましたが昨年の今頃は六、七百人の勞力にすら不足を感じたのであります、唯今申上げました樣に隧道關係と云ふ鑛種の仕事に千六七百の勞力を集めると云ふ事は實に容易ならぬ困難でありますが農繁期には特に苦い經驗を嘗めなければならぬので期限切つての仕事には非常な苦心が伴ふのであります、所が吾々土木建築協會側から申しますると協會と申すと……全島的に亘つて居りますが、協會員中臺北在住の者を中央會員と稱へてゐます、此中央會員が昭和七年から十一年度迄やりました仕事の額を見まするに、昭和七年は八百八十八万円、昭和八年が七百二十四万円、昭和九年が五百五十二万円、昭和十年が三百八十九万円、昭和十一年が七百十二万円斯う云ふ風に昭和七年以來十年迄はずつと事業の額が減りつつあつたのでありますが、昨十一年に至つて既に七百万円と云ふ風に增加して居ります、此增加の傾向から見總督府の新規豫算は曾て例のない多額のものが計上されて居る樣であります、その內に果して何れ丈け勞力關係のものを含んで居るか判らぬのでありますが、孰れにしても相當の額に上るのではないかと思ひます、事業がかういふ風に膨脹して行きますのに勞力が益々拂底すると云ふ樣なことは吾々として非常な苦しみであります、臺灣の事業を勃興せしむる上より見まして此の問題の解決は最も大切にして緊急な事と存じて居りました折柄今日此お企てを見ましたことは洵に喜びに堪へない次第であります、是非當局の御意見を拜聴しまして何らか對策を講じたいと思ふのであります、それで昨年臺中に於ける實業大會に吾々業界と致しまして臺灣の勞力調節に對する調査委員會を設け利害を考究し對策も樹てられたいと建議し總督府に陳情して居る樣な次第であります、總督府としても之に對しては深甚の御考慮を拂つて居られるものと思ふのでありますが、未だ實現には至らないのであります、滿洲に於ては常に北支の勞力を年々移入して居るのであります、それに對して其筋に於て統制委員會と云ふものを組織し官廳側に各關係の代表業者が集まりその年に必要なる數を相談し本年は之だけの人數を入れようと云ふ樣に數を決め又使役する方法に就ても協議し統制して居る、臺灣としても是非さうした機關を設け今後の勞力は支那を經濟的にもリードして行くと云ふ立場から現在は別ですが將來は南支、北支より呼び寄せる事がよいではないかと思ふのであります

◇小坂氏　私の方は使ふ方よりも支那から苦力を入れる方であります、從て官廳の監督の下に或る程度まで何程でも入れると云ふ御方針であれば其通り致しますそれから或は朝鮮人を入れるか內地人を入れるかと云ふことは之は賃金問題に依ると思ひます、要するに所謂何が一番入つて居るかと云ふと今では對岸では福建省から又浙江省の溫州人などが入つて居る、十二、三年前迄は廈門の方が盛であつた、今は廈門に行つて浙江省の溫州それから此方面を調べて見ますと此方面は幾らでもある監督官廳さへ認可されれば幾らでも入れると云ふ見込があるのであります、昨年制限されて二千名になると云ふ樣なことで只今では自由に參りません

◇佐々木氏　支那人の勞働者の賃金が可なり安いのではありませぬか

◇小坂氏　今では同じであります、彼を安くして之を高くすると云ふことは却々出來ない

座談會出席者（順序不同）

△官廳側　津水工作課長（鐵道部）三浦臺北工場長（以上鐵道部）日高副參事（以上專賣局）鈴木理務課長、細井勞務課長、猪爪保安課長（以上警務局）佐々木警務部長、江花高等課長（以上臺北州警務部）大竹督府統計官

△民間側　日下辰太氏（臺拓）牛尾竹之助氏（臺銀）三毛菊次郎氏（臺灣電化）中島道一氏（臺灣興業）南條久市氏（臺灣紙漿）藤江醇三郎氏（大倉土木）丸山珍爾氏（臺灣民報）小坂胤英氏（南國公司）

△本社側　河村社長、大澤主筆、杉野、蘭頭、鈴木各部長、笹原副部長、松井、草永各記者

支那の通貨膨脹
不安を一段と濃化せん

【上海四日發本社特電】支那事變の擴大に基く通貨膨脹については各方面から深甚の注意が拂はれてゐるが、一日發行準備管理委員會より發表された八月末現在に於ける政府系四銀行の紙幣發行高は十五億二千二百万元にして之に民間銀行七行の發行高七千万元を加へる時は總計十五億八千二百万元に上る、即ち前月に比し六千七百万元の激增であるが、此の程度の紙幣增發は戰爭勃發に當り支那政府としては定石である、更に巨額の紙幣發行が行はれてゐることは疑ひない所で之を計算に入れるときは相當の通貨膨脹となつてゐることは明白で、通常ならば既にその影響が表面に現はれてゐるべき筈であるが、現在の金融情勢は商取引の停止、外貨への資金逃避及び民間の紙幣退藏等の原因により、變態的デフレ狀態を現出し一般的に通貨の不足氣味にあるので、此の際かなり紙幣增發が行はれてもそのため直に惡性インフレを招來する危險は今の所まだ見受けられない、然し將來この趨勢が繼續され紙幣が濫發されるに至ればやがては產業界の必要以上の資金が國內に撒布されることとなり、インフレを促進するに至ることは免れぬであらう、その際市中に横溢した資金は為替をアタックし、兩者相俟つて通貨不安を一段と濃化せしむるに至るであらう

戰爭勃發年は不思議に豐年
米穀統計から觀た過去の事實
對策に共同作業奬勵

【東京特信】農林省にては、時局の擴大化に鑑み農業生產の確保增進を圖る為、自給肥料の增產、勞働共同作業の活動等を奬勵することとなつたが、元來、戰時に於ては、食糧需要の增大を來す反面に於て、人員の應召徵發に依り生產の減少を來すのが常であつた、尤も戰爭勃發の年に限つて豐年であることは過去の統計が物語るところである

即ち、農林統計によると次表の如くである（指數は明治十五年を百とする）

年次	收穫高（千石）	指數
明治二六年	三七、二六七	一二一
同　二七年	四一、八五九	一三六
同　二八年	三九、九六一	一三〇
同　二九年	三六、二四〇	一一八
同　三〇年	三三、〇三九	一〇八

日清戰爭勃發の廿七年には、右の如く豐年であつたが、その後の生產方減退は一割九分から二割に及んでゐる、更に日露戰爭當時は

年次	收穫高（千石）	指數
明治三六年	四六、五〇二	一五二
同　三七年	五一、四三〇	一六八
同　三八年	三八、一七二	一二四
同　三九年	四六、三〇二	一五一
同　四〇年	四九、〇五二	一六〇

卅七年の豐年に次いで生產力はぐつと落ちてゐる、又日獨戰爭（歐洲大戰）當時は大正二年五千二十六万石（指數一六四）から、大正三年五千七百万石（指數一八六）の大豐收となつたが翌四年には五千五百九十二万石（指數一八二）に減じて居り、滿洲事變の昭和七年は前年の五千五百万石（指數一八〇）に對し、六千三十九万石（指數一九七）の豐年を見、この翌年を除いて、昭和九年は未曾有の凶作であつた。

以上の如く戰爭勃發年の豐年が偶然であつたとしても、戰爭勃發後の生產の減少は不可避であり、歐洲大戰當時の實例では、ドイツは戰爭第一年に一七％五年目には四三％佛國では第一年に一三％五年目に三一％と夫々減產して居りである

各國が食糧の非常對策を講じたことは明かである、日本に於ては米を主食料とする關係上、過去に於ても食料飢饉の經驗を持たないが生產率の減少を來すことは明かなので、農林當局ではこれを防止する為、前記の對策を講ずるに至つたが、今後はこれを機會として農村の共同作業を奬勵助長して人馬勞力の不足を補ひ、農用機械農具の共同利用を圖るべく、これが設備新設について助成金を交付する方針である

石拔檢査を前に對策を考慮
臺北米友會が蹶起して
各方面に自治的施設

移出米の石拔檢査は愈々十一月一日から實施されることとなり新竹州臺中州の業者は相當の自信がある樣であるが、臺北州下の籾摺業者は先般の石拔試驗の成績が非常に惡いのに驚き何れも失望の態である、所が實施期は最早目前に切迫したので昨今頻りに對策考慮中である、過日米友會で此の問題が盛んに論議されたが會員の意見を綜合すれば朝鮮では籾干場から先に改良してから石拔機を施行した爲旨く行つたが、臺北州下では百万坪の籾干場の中改良されたのが僅か十分の一しかない、苦か土間の上に籾を乾すから石や土塊が澤山混つて同じ石拔機を使用してもなかなか朝鮮の樣に旨く行かぬ、內地では籾を乾すに莚を敷いて丁寧に取扱つて居るが、臺灣は土間の上で乾す許りでなく、乾燥場さへ綺麗に掃除しないのだから土砂が混入する、殊に斤量で賣買する故一層此の弊害に陷り易く今後買約するときは石を拔いた後に受渡をする制度を設けたらよくはないかと云ふ向もある、結局は同業組合員が今後籾を買ふ場合は萬石を持つて行つて一通石を取ることに決定し其の萬石も組合で纏めて購入することとなつた、又各自の工場に於ける石拔設備も一層有效適切にし籾の中に混つて來る藁草の斷片や其の他の夾雜物を一通目の荒い萬石で取つて次に唐箕に掛けて夫れから木製の石拔方法と二段に分けて籾より大きい石を目の荒いユリ（篩）で取り、更に籾より小さい石を目の細いユリで取つて最後に籾と同じ大きさのもの若くは比重の同じものだけを石拔機に掛けると云ふ事にしなければ石が拔けない今後に努めてユリの設備に邁進し此の石拔檢査の難關を突破する覺悟であるものと云はれてゐる

パルプ飢饉對策
バガス工業化が急務
前日本毛織常務　塚脇敬二郎

人絹、セロファン紙の躍進乃至は羊毛の代替產業として新たに登場したステープル・ファイバーの飛躍的發達に伴ひ、その原料たるパルプの需要は、累年顯著なる增勢を辿りつつある反面、世界はその資源難に懊惱しつつあることは周知の事實である

我國に就て之を見れば、本年度の人絹ステープル・ファイバー用パルプの需要量は約三十万噸、來年度は四十万噸にのぼる見込みである、その內、樺太、朝鮮を含む內地の生產高は僅かに五万噸內外に止まる、其他、準國產と見られる滿洲の生產高は、來年度にて三万噸、再來年度にて六万噸と見積もられる、さすれば再來年度に於ては滿洲內地を合計して十一万噸のパルプが得られる訳であるがそれにしても尚三十万噸は外國の供給に仰がねばならぬ心細い狀態である

これが對策如何は、現下の我國に課せられた重要なる研究問題であるが、人絹ステープル・ファイバー工業を中心として考へれば私は先づ現在の製紙用木材パルプを人絹パルプに轉用させ、製紙用パルプの新資源を求めるのが最も捷徑ではないかと思ふ、それに就ては、藁、葦、豆稈、高粱、桑枝等種々の代用資源が目下研究されつつあるが、技術上、品質上採算上色々難点があつて、何れもまだ成功の域には達して居ないやうだ

然しその中で最も有望と思はれるのは、最近注目され出した臺灣のバガスだ、臺灣では幸ひに大量の甘蔗が產出される、砂糖の搾り滓であるバガスは、臺灣では主として燃料に用ひられて居るが、これが約二十万噸の製紙パルプを作るに足るだけの量がある、勿論質は木材パルプに劣るが、それでもかなり良質のパルプが得られるから、これを補ふに藁葦其の他を以てするならば、相當量の製紙パルプが得られる、それだけを木材パルプに置き替へることに依つて、人絹用製紙用パルプ全消費量の三分の一以上を生產して居る我國としては、初めて自給自足の確立たる立場に立つ事が出來るのである

バガス工業化に就ては、目下着々研究が進められつつあるやうだが、私はその經營に就ては、工場分散主義で行かなければならぬと思つて居る、何故ならば臺灣と雖も甘蔗の栽培には適地不適地がある、從つて製糖會社の工場も各地に分散されて居る、故に、臺灣全土のバガスを、然もあれだけの量のあるものを一ケ所に集中するのには、運送の点でも不便があるし、水分を持てば腐敗の惧れもあるから、どうしても製糖會社の二工場の生產量を目標にした工場を各地に造り、一會社がこれを總括して行くと云ふことでなければならぬ

然れば、台灣に於てバガスに代る燃料を何に求めるかの問題だが、これに就ては、私は滿洲の石炭を何故もう少し積極的に開發して內地に輸入し、內地の石炭價格を輕減しようとしないのであるかの疑点に想到する、人或は曰くであらうと、極めて小乘的な意見だが、若し內地の炭業が困ると云ふなれば、何故日本の炭業者が自ら滿洲の炭業に指を染めて行くやうに國家が指導しないのであるか例へば內地の炭業者の共同出資に依る一つの團體を作つて、これに當させると云ふのも一方法であらう、そして少しでも安い石炭を內地に持つて來て、之を新市場である台灣に供給することになれば、正に一石二鳥の良策であると思ふ敢て當局者の一考を促す所以である

鷄糞の肥料價値
高價な魚粕に匹敵
新鮮、乾燥物の上手な利用法
肥價暴騰の新對策

鷄糞は窒素、燐酸分に富む濃厚肥料であるが、これを利用するにはコツがある、即ち乾燥した鷄糞は含有窒素物が非常に固くなつて水を使つても柔軟にならないからこの場合は次の方法を採る

一、粉碎　これは最も效果がある、元來鷄糞中の窒素分の形態は主に蛋白質であり、その次はアミノ酸である、之等は黴菌の作用でアムモニアを生成し、炭酸が結合して作物の根に吸收される、從つてアムモニアに最も早く變化させる事が施肥上大切な点であるが、粉碎したものが最も早くアムモニアを發するから粉碎を巧に行へば肥料價値が魚粕と同じ位になり、夏は二—五週間で顯著な肥效を發揮する、粉碎出來ない時は石の上で叩き潰して粉にし五厘目篩にかける

二、液肥　溜水、下水、風呂水に入れ夏季は四、五日、秋季は一二週間置いて溶し、之を液肥として使用する、この際の分量は水一石（五十貫）に對し乾鷄糞五貫目入れる

三、堆肥と共に堆積する場合　百貫の藁に對し十二、三貫入れると醱酵し、之から得られた堆肥は成分にて窒素〇・五乃至〇・七％の良い肥效數字を出す

四、塊の儘與へる場合　この場合は米糠と混合するか或は堆積せる堆肥と共に混ずる、前者の場合は米糠三に對し鷄糞一、後者の場合は堆肥百貫に對し鷄糞十貫乃至十五貫の割合で混入する、麥の肥料としてやる場合はなるべく粉碎してやる事、蔬菜の場合も同樣で他の場合は液肥とするが良い

斯樣に得た堆肥（鷄糞混合）を稻作に使ふ時は、反當五〇—八〇貫でよい、この中にまぜる各種肥料の割合は硫安二—四貫、石灰窒素三—四貫、下肥六〇—七〇貫、過燐酸石灰—鷄糞十貫目に對し三貫目、加里—鷄糞には窒素分に優る加里が含まれてゐるから木灰二〇—三〇貫で十分である、次に新鮮鷄糞は堆肥と混合する、腐熟せる堆肥と共にまぜる時は、濃厚になり過ぎるから未熟若しくは之から造るものに混合した方が良い、その混合割合は堆肥百貫に對し鷄糞一五貫乃至二十貫、この際なる可く鷄糞と同量に土を十五乃至二十貫混ずる、液肥とするには一石の水に對し十貫目の鷄糞を入れる

建物會社の社債低利借替
新社債は商、彰、華の各行及臺北信組で引受

臺灣土地建物會社では八月二十六日臨時株主總會を開き社債及借入金の低利借替を目的とする擔保附社債百五十万円發行の件を可決したが、右借替の內容を聞くに同社は去大正十四年に發行した社債百五十万円と借入金を年々償還し來り現在社債殘額七十三万円と借入金百七十七万円計二百五十万円を持つてゐる、就中社債の利率は年六分、借入金は年六分二、三厘に相當し低金利の今日之を低利債に乘替へるを得策とし發行價格百円利率五分の社債百五十万円を發行し從來の社債殘額七十三万円と借入金の內七十七万円を此際償還することになつたものである、右の內社債殘額は商工銀行と彰化銀行が各半額、三十六万五千円宛を所持してゐるので受託會社たる臺銀を經て本月七日兩行へ償還し一方新社債百五十万円は商銀で六十七万餘円、彰銀で六十万円、華南銀行で十二万餘円、臺北信用組合で十万円を引受くることに決定、同じ本月七日拂込むことになつて居る、此の五分利社債は二箇年半据置、五箇年間に抽籤に依り隨時償還するもので右借替の結果借入金は百万円に減少し社債百五十万円を合せて二百五十万円となり今後の支拂利益は從前に比し年一万五、六千円の輕減を見るわけで同社の內容改善及將來の進展に資するところ尠くない

紅茶は倍增
烏龍は半減
八月迄の檢査成績

總督府茶葉檢査所調査に依れば八月末現在に於ける檢査狀況は左の如くである（單位斤）

	八月中	一月以降累計	前年同期累計
紅茶	三四、三二一	一四九、三〇二	七六、五五六
烏龍	三一、四五五	四〇、三〇〇	八六、八〇二
包種	一九、三三一	二一一、二一八	二〇五、四一八

右の如く八ケ月間の累計は紅茶最も多く前年同期に比し殆ど倍增の盛況であり、反對に烏龍は前年に比し半減の淋しさである、包種は前年と大差なき趨勢を辿つてゐる

高砂香料の劃期的計畫
シネオールの完全採取

高砂香料では專賣局の樟腦副產油の一つたる白油からシネオールを分離するのに從來は蒸溜法に依つてゐたが、これでは分離も緩慢且つ不完全であるといふので今回新に冷却裝置を設け操作の迅速完全を期することとなつた、右の冷却裝置は液體空氣を使用するもので零下七十度といふ非常な低溫を生ぜしめることになつてゐる、然しこれに要する機械は目下獨逸に注文中であり、十月頃には工場設備もスッカリ出來上る豫定であるが零下七十度といふ低溫操作は恐らく我國でも最初のものであらうといはれてゐる、現在同社で實施してゐるところの樟腦赤油からサフロールを採る操作は零下二十度程度に過ぎない、前述のシネオールは風邪藥となり、歐米市場に於て濠洲產のユーカリ油と對抗し多大の好評を博してゐる、之は現在臺北工場から內地の本社に輸送され精製した上で外國輸出に振向けられてゐるが、若し冷却裝置が整備すれば臺北から直接外國輸出が可能となるであらうと期待されてゐる

海產物は急落

對支輸出の海產物は事變以來輸出杜絶で何れも暴落を演じ五島鯣の如きは臺北卸百斤五百餘円から三百餘円に落込み北海道產貝柱は百七十二円から急轉直下百二十円臺に落込んだ、寒天一等品も百斤二百七、八十円から二百二、三十円に低落した

局鐵業績
八月は收入激減
船腹不足と時局の影響

年度始めから好成績をつづけてゐた局鐵運輸收入は、七月は船腹不足につまづき、八月は米相場の低落と依然たる船腹不足に加へ肥料の減少によつて貨物は優で十万瓲の減少、金額で二十二万円の大減收を見、旅客に於ても祭典の中止と夏休行樂客の激減によつて約一万円の減收となつた

表記すれば左の如くである（下段は前年同比△印減）

局線收入（單位円）

客車收入	八〇一、三〇七	△八、六〇四
貨車收入	一、〇四〇、六〇七	△二二四、九五五
合計	一、八四一、九一四	△二三三、六〇四

乘車人員（單位人）

一等	二八	一五五
二等	一六、八〇四	△七、五三三
三等	一、七三三、八六六	△四四、〇三一
合計	一、七五〇、六九八	△八一、九八八

米　小口貨物發着噸數（單位瓲）　一六一、九〇五　△五〇、三二三

砂糖	五、三三五	六三五△
石炭	六四、八〇七	三、九〇〇
肥料	四四、〇〇五	△三、五二六
木材	二五、三〇七	△一、五三六
胡麻	一〇、七四四	△五六二
石油	四、五八二	△五〇二
芭蕉實	八、〇〇九	△一、五〇五
煉瓦	五、五二九	△二、四四九
洋灰	二、二二七	△六、一二八
雜貨	一五、一七〇	△二、二二四
合計	四一、三九一	△一〇四、七七七

年度累計に於ては（單位円）

客車收入	四〇一、七九九	二八〇、五三六
貨車收入	六、三三〇、五三三	△三六、一六〇
合計	一〇、二四〇、三三一	二三九、三九九

で僅かに二十五万九千餘円の增加を殘してゐる、乘車人員は八百八十九万千六百四十八人で四万六千人の增、貨物は二百六十二万五千噸で六万二千五百噸の增加であるがその內米は十一万二千五百噸の著減を示し、肥料も八千二百噸の減少をみせてゐる

本年上期の內外經濟界大勢（下）
臺銀　保田頭取（總會演說要旨）

海外經濟狀況

滿洲國及中華民國の狀況を顧みるに、農產物を始め諸物資の需給增加と世界的物價昂騰とに因り一般取引は活況を呈し、滿洲國に於ては大豆、豆粕、高粱、豆油等の前年同期に比較し何れも高値を示し、中華民國に於ては紡績業の如き未曾有の盛況を見、

資金　の需要一時緊化を呈したるが、期末近く一般商狀となり金融亦緩慢となり、斯くて物價は一般經濟界の好轉を反映して約二割方の昂騰を示すに至れり、兩國に於ては產金買上法其他各種の重要法令を公布實施すると共に中央並に地方行政機構の改善整理を圖れるが、他方中華民國に於ても廣東省幣制の中央化を見たる外、中央銀行の改組を計畫し六月末に於ける政府二銀行及中國農民銀行の紙幣發行高は總額十四億七千万元に著增せり、日支經濟提携の為二月中旬我經濟使節團の渡支と共に、在支本邦六銀行は其保有銀を同國中央銀行に引渡し、兩國財界關係者の融合に資する所ありしも北支諸問題は未解決の儘に殘されたり

上海　市場の為替は當初一志二片二十一分の十七、對日百三十九弗四分の三、對米二十九弗十六分の七、對米二十九弗三十二分の二十一、對日百三円四分の一を唱へ其間政府銀行の比較的出動に因り比較的安定を保ち、又日滿為替は等價を持續せり、次に關東州の貿易は一月以降五月迄の輸出二億一千八百四十七万円、輸入二億五千四百八十七万円にして、內對日本內地貿易は

輸出　九千六百五十七万円輸入一億九千百二十一万円、又臺灣に對しては輸出一千二万円、輸入百九十二万円を示せり、然して中華民國に於ては上半期中の輸出四億八千二百万元、輸入六億六百万元、內對日貿易は輸出六千二百万元、輸入一億一千五百万元にして兩支兩國何れも貿易額は前年同期に比し著しく增加せり、翻つて南洋方面に於ては我が經濟界に最も密接なる關係を有する英領馬來聯邦內の錫は本年四月一日現在の在庫高二十六万頓にして著しく減少し、[illegible]行の決議に因りて年百五万噸の輸出割當を得、前途著しく安定するに至れり

次に　護謨は輸出許可制限緩和に伴ひ生產額は漸增し上五月間輸出高十九万八千噸に達し前年同期に比し六万三千噸を增加し、又其價格は需要好調に因り一時四十五仙半に奔騰したるも期末三十一仙となれり、錫は上四ケ月間の生產高三万一千噸に上り、其值段は需要好轉せるに因り最高百四十三磅四分ノ三となり、此他コプラ、樹脂類等の主要生產品も又需要增進に伴ひ何れも價格昂騰したり、蘭領及英領馬來の金融界に於ては好況化を極め、紙幣發行高は六月一日現在九千七百万弗に上り前年末に比し一千二百万弗の增加を見たるが、一方蘭領印度に於ては年初來[illegible]しく低下し、[illegible]銀行は一月十五日其の公定割引歩合を二分に引下げたり、然[illegible]

更に　進んで爪哇の對日輸出貿易を見るに、制限外商品たる砂糖、人絹等の增加せるが為輸入總額二千百万盾に達し前年同期より一千万盾增加し又輸出は砂糖タピオカ等の增加したるに因り前年同期に比し五百万盾增加したり、從てよりの懸案たる日蘭會商は四月九日假調印を了し六月十五日以降大阪で民間會商に入りたるも遂に成立するに至らず、更にバタビヤで繼續のこととなれり、一方英領馬來の上四ケ月間の貿易は前年同期に比し輸出一億二千六百万弗、輸入六千四百万弗各增加したるも、海峽植民地中繼貿易は保護貿易に終れり、次に印度は對日貿易の為依然不振に終れり、次に南洋諸方面に於ける海外經濟[illegible]南洋方面の為替は[illegible]（終）

農業部の二期稻作
分蘗旺盛、蓬萊特に優る

中部農業部發表　第二期稻作況第三回調査報告によれば立秋節（八月八日）より處暑節（八月二十三日）に至る本期間の氣象狀況は平年に較べて氣溫稍低く日照時數、日照日數稍少なかつたが稻の生育は極めて順調で在來種にあつては平年に較べて草丈は低いが莖數は大差なく前年に較べると稍劣れてゐる、內地種にあつては草丈莖數共前年及び平年に較べて優る狀態で、本期間に於て特に分蘗が著しく旺んであつた、附近農家の作況も又當部と大差なきが如くである本期間に於ける主なる氣象要素は次の通りである

	氣溫	日照時數	降雨
本年	二八度〇	八一時八	七八粍〇
前年	二八・八	三九・五	五・[illegible]
平年	二八・六	二〇・一	七九・六

內外商況欄（四日著電）

株式　反撥力乏しく　利喰に小康狀態

兜町前場況

【東京四日發同盟】長期は事變の見透し困難や金詰りから市場不安依然濃く雜株の中には部分的に利喰ひ戻りを見せてゐるものもあるが新規買は一向にないため反撥力乏しく紡績株は洋紡新旧一、二円方高く以下は大體保合で新鐘も新子入れあつて漸く小康狀態となり人絹株は帝人新旧一円四、七十錢高乍ら倉組新一円三十錢安く、砂糖株は區々鈍重、重工株は鐘淵新三円安鐘實新一円四十錢安石川島三菱重、電工、浦賀新等一円一、六十錢高、炭礦株は區々で北炭一円內外高九炭新一円四十錢三菱鑛一円四十錢安、石油株は日石一円六十錢新一円北樺油一円五十錢高その他雜株の日發は對ソ關係の悲觀で新旧とも一円七十錢方續落し資金株に日鐵日產とも依然鈍重で東株に旧九十錢新六十錢安と重い商狀であつた、短期、投げ物に相當出盡したやうであるが新規買乏しいので新東は百三十二円ドタ値にアト一円どたまであり一円十錢と四十錢安に寄付二円二十錢を高値と下迴つて大引、新新は再度大隔門割れを見せたが投資組合の挺子入れで辛くも二百円臺を維持し他の諸株も不活潑商狀につれて日發商鐵等も狙はれて來たのが注目された

兜町展望

【東京四日發本社特電】市場全般としてはなほ先行不安に驅られてゐるので所見買に出る者なく興銀の手形割引難、資案等も全く無感覺の態で下値波瀾を繰けるものが多い▲尤も優良株には例の投資組合の挺入れがあり一方東株關係者の更に積極的對策が講ぜられてゐるから從來の如く濫茶に賣叩くことも出來まい▲短期新東は三日の波瀾で一寸疲れ氣味にあり商內も薄く小動を繼返し環境の情勢眺めにあつた紡織株も短期新綿に挺入れ買あり漸く下げ澁り商狀となつて來た▲人絹株は相變らず盆相商狀でなほ不安氣分に包まれてゐる樣だつた▲砂糖株も先行懸念から新規買も全く見送られ部分的に利喰戻しを告げてゐる程度だつた▲重鑛株は頃日來相當賣叩かれた關係で漸く小戻し氣味となり概ね小綻りだつたが炭礦株は尚後れ馳せの投げ物目立つた▲石油株も日石、北樺が小反撥を示したが單なる利喰戻しで新規買が入つたものとは見られぬ▲日發は日ソ關係懸念強く採算の如きは全く無視された形で引續き不安人氣に驅られ投げ急いで短期は五十二円臺の新安値に崩れた▲之と同時に南滿も俄かに賣り人氣となり短期は氣弱れ商狀となり注目された▲日鋼は金塊相場の反落に刺戟され存外底堅いところがあつた

大阪株式短期取組（四日本社特電）

鐘新	買方四九店	買方四〇店
大新	賣方二七店	買方五九店
東新	賣方二七店	買方四九店

北濱雜觀

帝人	賣方四〇店	買方二九店
日產	買方二九店	買方五五店
商船	賣方二二店	買方五四店

【大阪四日發同盟】上海邦人紡績の被害は僅か十万錘しかない日華紡の外は輕微なので問題にならぬ、操業時期如何にありと船津總務理事の報告と興業銀行と中央金庫に支那向き輸出品の滯貨に融資を為すことに決定したのを好感し短期鐘紡人絹株を中心に寄付引締りしも休日控へ利喰買氣を委縮せしめ場面に再び保ち合ひ人氣となりアト不味の商狀となつた

東京市中コール（四日本社特電）

	安値	高値	保合
翌日物	〇、七〇	〇、七〇	〇、七〇
月越物	〇、八五	一、〇〇	〇、八〇

日銀帳尻（四日本社特電）（單位千円）

發行高	一、五五四、三二一	
正貨準備	八〇一、〇〇〇	
預金	二〇〇、九九九	
貸出	六〇九、[illegible]	

米期　軟派の逆襲に又もや三十圓割れ

堂島米況前場

【大阪四日發同盟】昨後場來の氣先今朝は政策買ひ一巡と地場軟派の賣崩しに先限は三十円二十錢と反落して始め環境不良に三節十二錢と新落六節十四錢と戾したが休日控へに買物すかずアト又復不良化し期近に有力筋の買手控へと相待つて三限とも大幅を割り結局當限二十二円九十二錢中限二十二円八十四錢先限二十九円八十九錢と何れも五、六十餘錢落して引けた

大阪正米標準値（四日本社特電）

內地白米　三三、七〇　朝鮮白米　三二、四〇

蓬萊米　三二、五〇　在來種　一〇、〇〇

丸糯米　三二、三〇

東京銘柄清算前場

	當	中	先
▲一期蓬萊米	一〇四六五錢	一〇四六九錢	四三錢
▲二期蓬萊米	一〇四七四錢	五二錢	
▲一期丸糯米	不申	不申	
▲二期丸糯米	一二四七五錢	五九	不申

大阪在庫米

【大阪四日發本社特電】

內地米	一、〇〇二、二二八
白米	二〇九
朝鮮米	四六、七一二
白米	七、五八〇
蓬萊米	三三、五三六
白米	一、六五
碎米	八、五五二

堂島雜觀

【大阪四日發本社特電】市中在米審議日を逐うて顯著となり各際の野少在米をもつて端境期たる本月一杯を蓋さねばならぬから旦場北國新米相場方面へさらへられると見る向もある▲市中當用品は極度に底を透してゐるから猶羅受米に買漁手が動かされてゐる▲政策強化は中先へは影響薄で且つ米作のキイポイントたる秋日和も上乘で何等懸念ない鮮地作柄赤順調で年內先物は相當安値で賣つて來る▲政府買上げも餘程大量行はれないと威力を發揮しない▲政策第一次具體化までは軟派もうかつに賣れずとの警戒心がある

【大阪四日發本社特電】政策買の一巡に乘ずる地場軟派、朝鮮筋、正米筋の強硬が良く功を奏し期近安と相待ち寄付の大下放れに次でアト休日控へに依る利有筋の利喰急ぎの賣も現はれ三限とも大崩れの暴落を餘け形勢再び逆轉模樣となつた

米界餘聞

【大阪四日發本社特電】當限の崩落原因は天候良好と政策過信買過ぎの反動▲今朝東京より歸阪の當取理事の談に、新法により高米價政策をとるものではない自由に買へない、旧米穀統制法の便法としたもの昨夕北國九月二十五日限み建値三十二円九十錢で七百石の買付を見た後三十二円建て同數あるも軟派は一聲▲當限決算点上迴るは無理のある證據、馬組買玉六万石、今當限取組要表で三十万石、關係は提灯なりで馬組の買玉の三倍この提灯がらん▲更に地場強氣米客筋も勢なりで馬組の買玉の[illegible]

糖砂　外糖安に安　寄跡手堅い

政策期待外れ安の一因

【清算】【大阪四日發本社特電】ロンドン、ニューヨーク安とニパスのニュージランド向け五ギルダー六十仙にて商內出來たとの報に安寄りアト環境落着に手堅い

【現物】【大阪四日發本社特電】分蜜は定期に連れ高く買氣ボツボツアト小戻し弱保合、耕地白は買なく保合

大阪砂糖現物（四日本社特電）

△分蜜TAB　一九、一五　TEA　一九、一五

DSA　一九、一五

△精製ST　二二、七五　二三、四〇　二二、六五

MS　二二、六五　二二、〇〇　二三、〇〇

△耕地白糖A双　二一、〇〇

△再製三盆OBB　一九、〇〇

△黑糖琉球（一）　一五、四〇

大阪重要商品（四日本社特電）

神戸ゴム現物	七〇〇厘
木綿文目現物	五五九〇厘
モスB一現物	四三三五厘
人絹絲平地	九二厘
人絹帝人C	七〇〇円
絹紡糸二綿	三一七〇円
ネル九〇生地	七四五〇錢
硫酸新現物	七四八〇錢
鉛粕米物	五〇〇円
豫約鋼鐵（水陽費）	一二一四七〇錢
鋼板一分	二八五〇円
銑鐵一浦	八六〇円
平板	一四一二〇錢
浪板亞鉛引	九四〇錢
柳殻油	六四五八〇錢
木材米松大角	一四六〇錢
曹達灰（內國）	一〇四円
毛糸ZC	二四七二錢
北海小豆新三	八四三〇錢

神戸硫安相場

日本硫安現物	三二、八〇	三二、七五
三井硫化物	三二、八五	三二、八〇
滿洲バラ物	九六、〇〇	九五、〇〇

神戸穀肥市中相場

大豆現物九三〇　同滿洲物八二

豆粕現物二一、四〇　同北海物四、七五

小麥內地物八、九〇　麥粉（日合）四、二〇

硝石現物三、七〇

過燐酸15％物一、七五

大連特產前場況

【大連四日發同盟】內地保合ひなるも海外の不味に各品とも低落した大豆は現物に鞘寄みものの買弗あり定期もこれにつれ定りに寄付いたが豆粕筋の買物依然少く奥地の天候良好と哈爾賓安で奥地の買弗ひとなり現物は寄付より十七錢安の下げ足を見せたが安値には現物先物とも邦商マバラの買支へが出て小戻したが市場の人氣は依然軟弱である豆粕豆油は大豆につれ低落し油房の需弗商の賣に一つた

大連特產出來高

	定期	現物
大豆	五〇〇車	一七〇車
豆粕	三万枚	

在荷　大豆　九九車　二、一六車

豆粕　三車　九九六千枚

豆油　[illegible]　天候晴

島內商況

正米　期米再落　基隆　嫌氣投

正市跡氣配

蓬萊は昨三日小口前れにて氣配調の氣先、今朝は期米の大巾反落に連れ、前れ一巡に地場軟派の投げと相伴ち高値摑みの整理賣に押されて反撥の中限跡買あり、各限共二十丁方急反落した、小口の利喰急ぎ賣殺到に粉飾の先限攻撃を添へ、二非の中限買と利アト振設の中限防補買と休日控に依る小口利喰賣ありしも場面不味の儘に終つた

◇朝場—▲一期蓬萊米、期近物は手當買に小締り當限九円八二錢と五丁高に甫り二錢あつて八二錢と止め廿四車、中限九円九二錢同じと甫り四錢と止め二十四車、先限は九円八一錢と止め二十二錢あつて九二錢一錢と五丁安に甫り八二錢と止め十八車▲一期丸糯米出來不申

◇前場—▲一期蓬萊米、期近物小締り氣先手當買一巡と期米崩落を入れて下押當限九円七八錢を五丁安に甫り八〇錢と覗いたが續かず七六錢と小弱く止め七七車、中限九円八五錢と七丁安に甫り[illegible]と止め十二車、先限は九円七四錢と五丁安に甫りマバラ買拔けに六九錢と小弱く止め百十車▲一期丸糯米出來不申

◇後場—十四日半休

正市跡氣配

後場休會乍ら夕刻場外の氣配は當中限九円八十錢、先限九円七十錢の見當である

基隆在庫米（四日朝調査）

一期蓬萊米	七一八、六五〇
一二期蓬萊白米	一〇、〇四二
一期丸糯米	一、九一八
二期丸糯白米	六、三〇四
一二期在來白米	四四七
合計	八五、四三八
到着米	一一六車（一、四〇八俵）

臺北現物相場

一期蓬萊米	一〇、〇一	
北部一期丸糯米	九、九五	
南部一期蓬萊米	九、九五	
中部一期蓬萊米	一〇、〇一	
北部一期在來米	九、八一	
一期在來米	八、五五	

臺中米價（四日）

蓬萊米一期	一〇円〇〇錢
出來高蓬萊米一期	七、一八九俵

高雄米糖相場（高雄倉庫渡）

高雄州蓬萊米現物	出來不申
臺南州蓬萊上米	八、六〇
南部在來米現物	八、六〇
分蜜糖現物	一九、〇〇
耕地白双	二三、一〇
同　車糖	二二、九〇
赤糖	一四、六〇

臺北糖粉雜報

分蜜糖	一九、〇〇
耕地白双	二三、一〇
同　車糖	二二、九〇
赤糖	一四、〇〇
麥粉　仁王印	四、四五
雪印	四、四〇
赤ダイヤ印	四、四〇
三洋印	四、四〇
片栗粉	六、九〇
奥田白絞油	一九、八〇
蓬萊粉	六四、〇〇
丸糯粉	六五、〇〇

臺北肥料相場　現物（基隆倉渡）

大豆油粕	一円四〇錢
內地硫安	一円七〇錢
硫安	一円九〇錢
過燐酸（七貫五入一五％）	一円六二錢
同（七貫五入一九％）	一円七二錢
硫酸加里四八％	一円五〇錢

有價證券賣買
大一證券